

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

<19週> 水痘 石川県で今週定点当たり報告数が5.8、静岡県で4.7など例年の同時期より多くなっている / その他最新動向
<4月> 性感染症・薬剤耐性菌について



注目すべき感染症
P.5

<麻疹流行状況> 第19週の報告患者総数は1,001で、定点当たり報告数は0.34



病原体情報
P.6

感染性胃腸炎 SRSVおよびロタウイルス検出報告 / 咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス / 流行性角結膜炎患者から分離されたアデノウイルス報告



IASRからの速報
P.7-8

肥育牛における腸管出血性大腸菌O157の感染発症事例



海外感染症情報
P.9

ナイジェリアの黄熱 / 注射による麻薬使用者での創傷ボツリヌス症 - 英国(ロンドン) / 他



感染症の話
P.10-13

梅毒
梅毒トレポネーマが病原体で、感染者との性行為、疑似性行為を避けることが予防の基本である



読者のコーナー
P.14



グラフ総覧(19週)
P.15-21



グラフ総覧(4月)
P.22-26



4月のデータ
P.27-29



19週のデータ
P.30-37



発生動向総覧

19週コメント 5月22日集計分

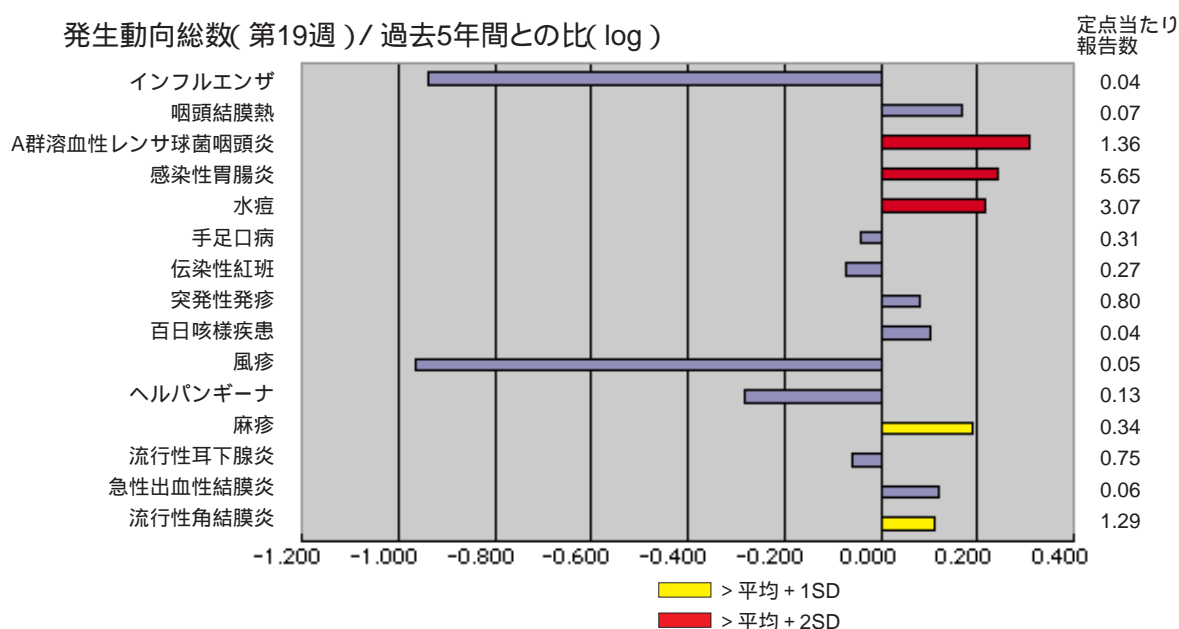
全数報告の感染症

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：コレラ1例(推定感染地：フィリピン)
 - 細菌性赤痢13例(推定感染地：国内1例、インド3例、タイ2例、ネパール2例、ペルー2例、中国、韓国、インドネシア各1例)
 - 腸チフス2例(推定感染地：インド1例、不明1例)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症24例
- 4類感染症：アメーバ赤痢5例、
 - 急性ウイルス性肝炎4例
 - A型3例__推定感染地：国内2例、中国1例
 - E型1例__推定感染地：インドまたはネパール
 - Q熱1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性) 後天性免疫不全症候群12例、
 - ツツガムシ病6例、梅毒5例、レジオネラ症3例、
 - マラリア4例 熱帯熱マラリア1例__推定感染地：アフリカ2カ国、三日熱マラリア1例__推定感染地：不明、卵形マラリア1例__推定感染地：セネガル) 不明1例
 - ツツガムシ病は東北・北陸地方で例年5月に報告数が最も多く、今年も5月に入り同地方からの報告数が増加している。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の定点当たり報告数が例年の同時期よりかなり多く、過去10年間で最大の流行曲線を描いている(15-16ページグラフ総覧、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎参照)。患者の年齢階級別で見ると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、3歳から7歳の小児が全体の約7割を占め、ピークは4~6歳にある。感染性胃腸炎は7歳以下の小児が全体の72%を占め、ピークは1歳にある(感染性胃腸炎の病原体については6ページ参照)。水痘も例年の同時期に比べ、定点当たり報告数がかなり多く、石川県で定点当たり報告数5.8、静岡県で4.7、熊本県で4.6、愛媛県で4.4、沖縄県で4.3、福井県と山口県で4.2となっている。患者の年齢階級別では、1~4歳にピークがあり、この年齢階級で全体の70%を占める。夏季の流行疾患では咽頭結膜熱に続き手足口病も報告数が徐々に増加し始めた。全国的にはまだ報告数は少ないが、熊本県で定点当たり報告数4.1など九州地方で患者の増加がみられる。麻疹は連休明け患者報告数が増加したため、例年の同時期より定点当たり報告数が多くなっている。大阪府ではさらに大きな流行となっており、千葉県、兵庫県、茨城県、香川県、埼玉県、栃木県、岡山県などでも患者報告数が増加している(5ページ注目すべき感染症参照)。流行性角結膜炎は茨城県、宮崎県、滋賀県、沖縄県、愛媛県などで定点当たり報告数が増加している。

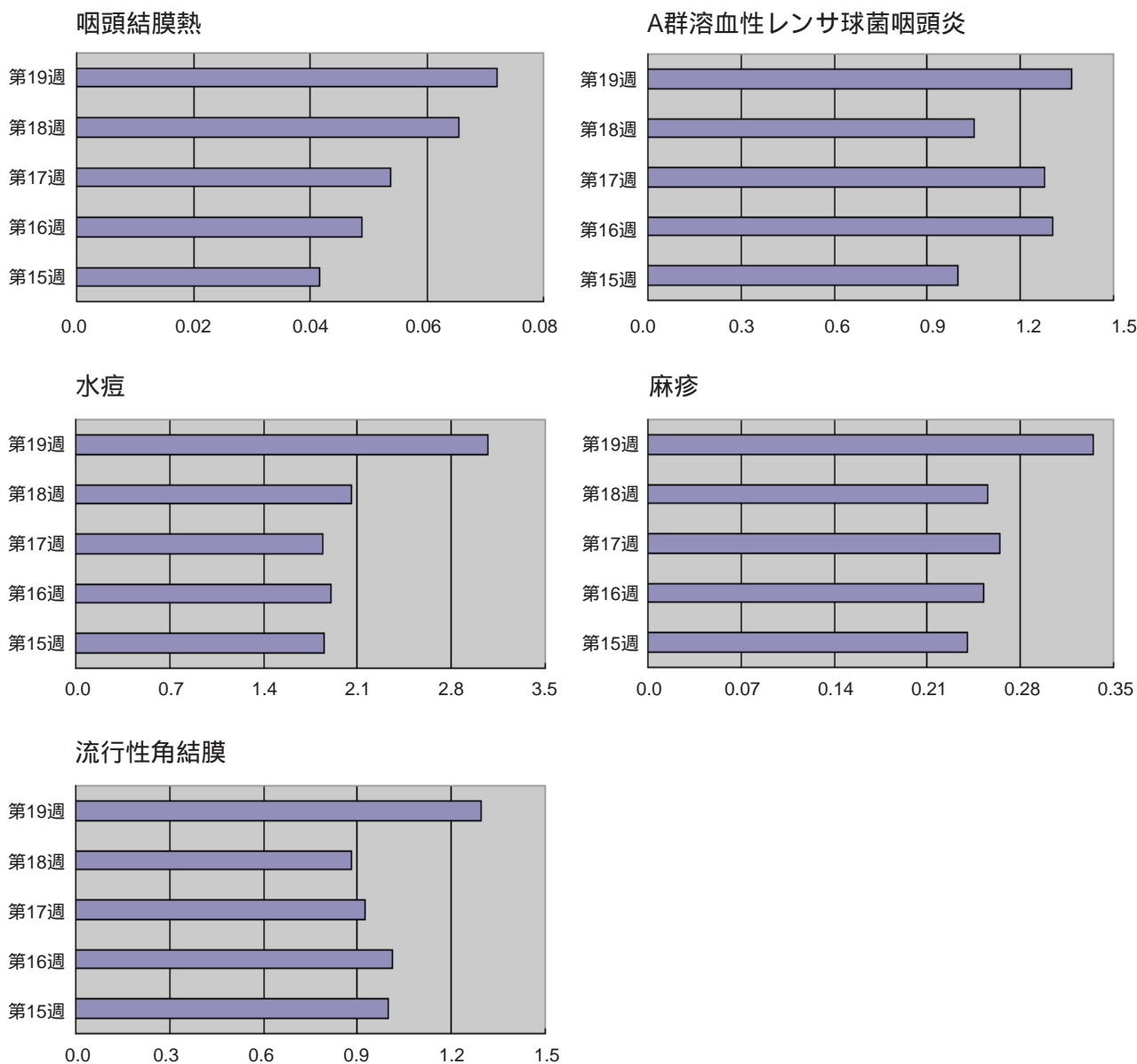
発生動向総数(第19週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

順調に患者報告数が減少している感染性胃腸炎に代え、夏季の流行疾患で、患者報告数が増加傾向を示している咽頭結膜熱を注目疾患に加える。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、麻疹、流行性角結膜炎、いずれの疾患も連休明けの定点当たり患者報告数は増加している。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

4月コメント 5月12日集計分

【注】)内の+、- は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

性感染症について

4月のSTD定点総数: 901 .

4月の定点当たり報告数 : 性器クラミジア感染症 2.97(-) (男1.30、女1.68)
 性器ヘルペスウイルス感染症 0.79(-) (男0.34、女0.45)
 尖形コンジローム 0.38(-) (男0.22、女0.16)
 淋菌感染症 1.30(+) (男1.09、女0.21)

年齢階級別 : 20-24歳で最も多い・・・性器クラミジア感染症(総数、男性、女性)
 性器ヘルペスウイルス感染症(女性)
 尖形コンジローム(総数、女性)
 淋菌感染症(総数、男性、女性)

25-29歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(総数)
 尖形コンジローム(男性)

30-34歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(男性)

薬剤耐性菌について

4月の基幹定点総数: 447 .

4月の定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 2.98(-)
 ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.73(-)
 薬剤耐性緑膿菌感染症 0.06(-)

年齢階級別 : MRSA感染症 …………… 報告数の58.7%は70歳以上の高齢者であり、0歳と65-69歳にも多い。

PRSP感染症 …………… 1-4歳が最も多く、全体の33.5%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ……高齢者に多く見られ、全体の67.9%が70歳以上であった。



注目すべき感染症

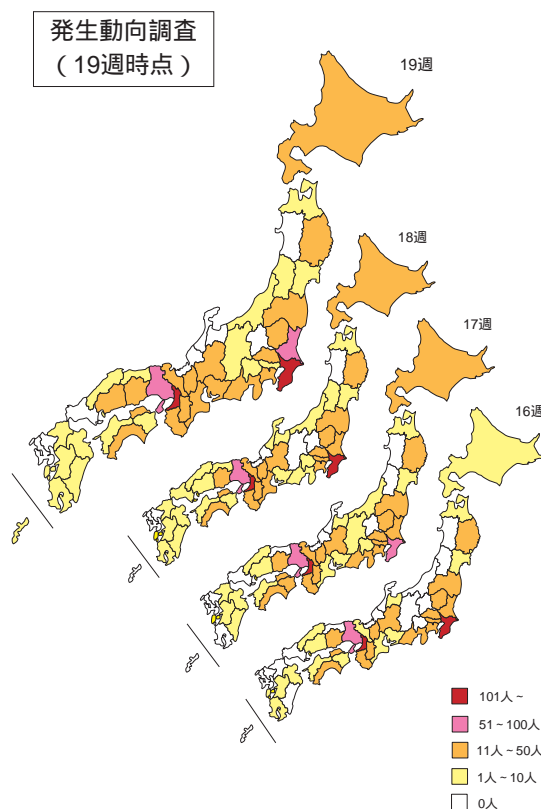
麻疹流行状況

2000年第19週(5月8日 ~ 5月14日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は1,001で、定点当たり報告数は0.34であった。2000年第1週から第19週までの累積患者数は8,633、性別内訳は男4,760、女3,873とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満1,167(うち6ヶ月以下129)、1歳2,032、2歳927、3歳673、4歳557、5~9歳1,901、10~19歳1,224、20歳以上152となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は113で、第13週以降報告数が急増している。年齢階級別では、~19歳39、20~24歳38、25~29歳17、30~34歳15、35~39歳2、40~44歳2となっている。

今年の麻疹流行曲線(18ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特に大きな流行とはいえないが、95、97、98、99年より定点当たり報告数が多くなっており、発生動向総覧のCPEGグラフ(Current/Past Experience Graph、過去5年間の当該週と前後1週ずつの計3週、のべ15週の定点当たり報告数の平均値に対する今週の定点当たり報告数の比を対数で示したもの)では、過去5年の同期に対し、定点当たり報告数が多くなっていることがわかる。例年麻疹患者の報告数は5月の連休明けにピークに達するので、今年もほぼ流行極期に達したと考えられるが、中学校や高校での流行事例もみられ、今後しばらくは患者数が増加する可能性もあると考えられる。現在のところ、都道府県別では、右の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、兵庫県、茨城県、香川県、埼玉県、栃木県、岡山県などで患者報告数が多くなっている。

基幹病院定点より報告される4類感染症の病原体報告によると、2000年第19週までに急性脳炎から麻疹ウイルスの分離が1件、クラミジア肺炎と診断された症例から麻疹ウイルスの分離が3件報告されている。成人麻疹の患者から分離されたウイルスは、麻疹ウイルス62件、風疹ウイルス7件、その他病原体7件であった。





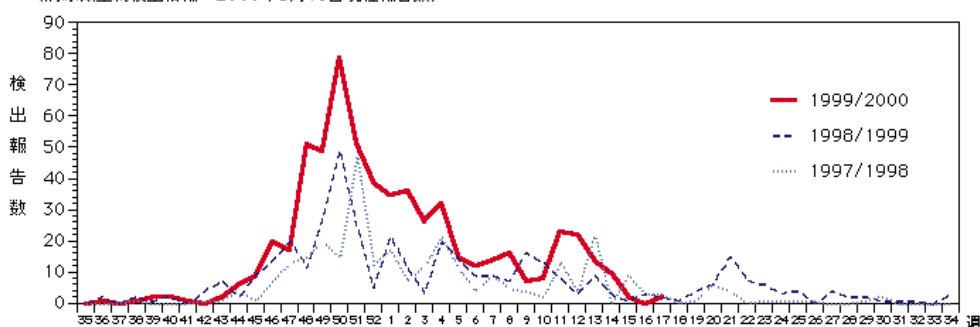
病原体情報

感染性胃腸炎 1999/2000シーズン* SRSVおよびロタウイルス 検出報告(2000年5月22日現在報告分)

今シーズンのSRSV検出総数は604件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少してきたが、第10週より再びわずかな増加を示している。今シーズンのロタウイルス検出総数は420件で、2000年に入って大阪府、奈良県、新潟県、香川県、大阪市などから計375件の検出報告があった。ロタウイルスの検出報告は、現在のところ2000年第8、9週をピークとしてその後もしばらく検出が続いている。

*1999/2000シーズンは1999年第35週(8/29-9/4)から。

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報: 2000年5月19日現在報告数)

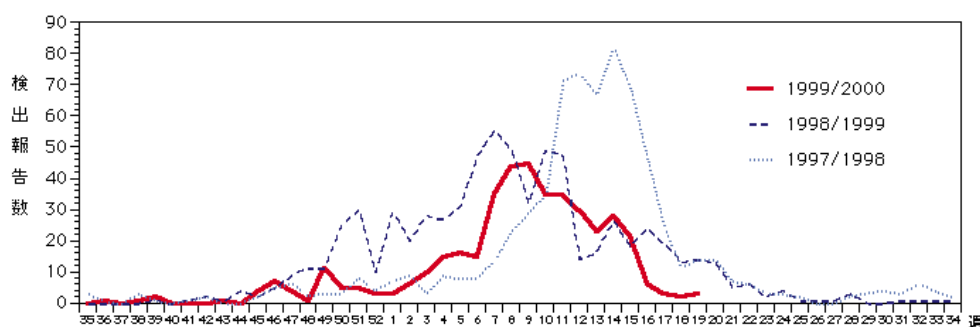


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報: 2000年5月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年5月22日現在報告分)

アデノウイルス1型が長野県(第8週)と新潟県(第14週)からそれぞれ1件、アデノウイルス2型は長野県(第2週)と広島市(第8週)で各1件、アデノウイルス3型と4型はそれぞれ1件(第3週、5週)の分離報告があった。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年5月22日現在報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2週、5週)とアデノウイルス37型が1件(第5週)、神奈川県からアデノウイルス19型が1件(第2週)の分離報告があった。

IASR 病原微生物検出情報月報 からの速報

肥育牛における腸管出血性大腸菌O157の感染発症事例

牛は腸管出血性大腸菌(EHEC) O157の感染源として注目されているが、それは保菌動物としての位置づけであり、EHEC O157の牛に対する病原性はほとんどないとされてきた。しかし、今回我々は、肥育牛の食肉衛生検査においてEHEC O157:H7およびコクシジウム(*Eimeria*)の感染が原因と思われる出血性腸炎の症例を経験したので、その概要を報告する。

本症が認められた牛は去勢、2歳のF1(ホルスタイン × 黒毛和種)の交雑種の肥育牛で、生産地は神奈川県であった。当該牛は出荷の4～5日前から下痢があり症状が改善しないため、その旨を明らかにされた上で食肉センターに出荷された。と殺前の生体検査では体温37.9で、動作緩慢、脱水、泥状血様便による肛門周囲の汚れが認められた。血液検査の結果は、尿素窒素170mg/dl、クレアチニン22.1mg/dl、赤血球数1,249万/mm³、白血球数2,850/mm³、ヘマトクリット値55%で尿毒症および脱水が疑われた。便の潜血反応(オルトトリジン法、グアヤック法)は強陽性であった。

剖検では、直腸便は赤褐色泥状で強い腐敗臭を放っており、腸管粘膜で軽度の出血がみられたがその他の病的変化は乏しかった。腎臓は、強い尿臭が認められた。膀胱は微小球状の結石が貯留し、広範囲の強い出血と水腫が認められた。

病理組織学的には、空回腸から直腸で軽度のカタル性腸炎とコクシジウムの寄生、粘膜固有層を中心とした微細な出血が認められたが、HE染色ではAE病変は不明瞭であった。しかし、O157抗血清を用いた免疫組織化学的検査ではEHEC O157が上皮細胞にAE様に付着している像が限局した部位で認められた。腎臓では糸球体が軽微に腫大しており、尿細管上皮細胞の剥離が散見されたが全体的に病的変化は少なく、人のHUSで観察されるという所見は認められなかった。膀胱では、固有層から筋層に至る広範囲な水腫と出血が認められた。

細菌学的検査で便からEHEC O157:H7が分離され、その菌量は4×10⁷ CFU/gに達していた。マッコンキー寒天培地などの選択培地上に発育した大腸菌のうち約30～40%をEHEC O157:H7が占めており、CT-SMAC寒天培地で発育した集落はほとんどすべてEHEC O157:H7であった。分離株のMUGとソルビトールは陰性で、RPLAによりStx2の産生が確認され、PCRによりstx2とeaeA遺伝子が検出された。また、ELISAによって便から直接Stxを検出することができたが血清および腹水からは検出できなかった。しかし、細胞接種試験において血清はVero細胞毒性を示した。便からのウイルス分離は陰性であった。

これまでの種々の調査報告によると、牛の糞便からはEHEC O157が数%の割合で分離されるが、通常発症はせず、その菌量も100CFU/g以下と少量で、いわゆる健康保菌牛として存在していると考えられている。今回の症例では臨床症状と剖検所見に加え、腸管内におけるEHEC O157:H7の増殖と粘膜上皮への付着およびStx産生が確認されたため、EHEC O157:H7の感染発症があったものと考えられた。しかし、同時にコクシジウムの混合感染が認められ、EHEC O157:H7の感染像も限局的であったことから、単独での牛に対する下痢原性については今後検討の余地がある。また、尿毒症を併発していたことから、Stxによる腎障害を疑ったが、人でみられるHUSと同様の病態は確認できなかった。

牛のEHEC O157:H7の自然感染と思われる事例が確認されたことは、公衆衛生上のみならず家畜衛生上も問題となるおそれがある。今回の症例は、と畜場法に基づき、尿毒症として全部廃棄処分とした。また、自然環境への汚染の拡大および二次感染防止のため、食肉センターの施設、器具器材の消毒およびそれらの細菌検査を緊急に実施するとともに、公衆衛生、家畜衛生関係部局に情報提供を行い、生産者とその家族の健康状態の把握、同居牛の細菌検査、水源や堆肥の安全確認などを実施した。発症牛を出荷した同一農家で飼育されていた41頭中6頭の牛からEHEC O157:H7が分離されたが、生産者など人への感染は認められなかった。発症牛および同一牛舎で肥育された健康な同居牛3頭からの分離株計4株をPFGE法により解析した。それらのXbaI切断パターンはすべて同一であった。

本事例の調査には、農林水産省家畜衛生試験場感染病理研究室の播谷亮室長、神奈川県家畜病性鑑定所の協力を得た。

神奈川県食肉衛生検査所	久島昌平 高橋徳行 五味 純 福馬幸哉
神奈川県衛生研究所	細菌病理部
国立感染症研究所	寺嶋 淳 渡辺治雄

(病原微生物検出情報5月号-IASR vol.21 No.5, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ナイジェリアの黄熱

WHO 2000年5月19日

ナイジェリア保健省はKano州で黄熱2例を確認した。

ナイジェリア保健省は、WHO、ユニセフ、国境なき医師団と協力して、Kano州とEkiti州で大規模なワクチン接種キャンペーンを計画中である。

注射による麻薬使用者での創傷ボツリヌス症 - 英国(ロンドン)

Eurosurveillance Weekly 2000年5月18日

長期にわたるヘロイン注射歴のある34歳白人女性が、知覚鈍麻を伴わない、近位筋を中心とした全身の筋麻痺、咽頭部の筋および眼筋麻痺、呼吸不全でロンドン市内の病院に入院した。ボツリヌス菌毒素、菌培養の結果は出ていないが、患者は特異的なボツリヌス菌抗毒素に反応している。他の神経筋麻痺の原因は筋電図や髄液検査の結果によって除外されている。また末梢神経障害の兆候はない。筋傷害のマーカーの血清クレアチンキナーゼは正常であり、このことから麻痺の原因が急性のミオパチーであるとは考えにくい。この症例は英国での創傷ボツリヌス症の初の報告である。患者は薬物を何年間も皮下、筋肉内に注射していた。入院時、患者の殿部には薬物注射による2か所の注射痕があった。患者は、昨年11月にやはり注射が原因の殿部の膿瘍で、入院している。創傷ボツリヌス症は最近ノルウェーとスイスで皮下、筋肉内に注射していた薬物中毒者で報告されている。米国では数年前 'black tar' ヘロイン注射に伴う症例が報告された。

注射による麻薬使用者に原因不明の疾患 - 英国(グラスゴー)

Eurosurveillance Weekly 2000年5月18日

スコットランド地方のグラスゴーで、薬物注射使用者の20名がグラスゴーの病院に敗血症性ショック類似の呼吸不全を伴い入院し、9人が死亡、残りの11人は集中治療中か、回復中であり、一部は退院している。大部分がグラスゴー市内に住んでおり、患者のなかで密接な接触があったものもいた。女性は、患者20人のうちの15人、また死亡した者9人のうちの8人を占めていた。20人全員が皮下注射か筋肉注射を行っており、組織損傷の徴候があった。損傷の程度は比較的軽症なものから広範囲な壊死までであった。重篤な炎症性の反応を起こし死亡した患者は敗血症性ショック様であったが、広域抗生物質や外科的デブリードマン(創傷清拭)には反応しなかった。

血液や組織検体の分析では、一致した結果は認められず、多くの検査結果は陰性が非特異的であった。ヘロインを注射していたものは皆、クエン酸を混ぜて注射していた。ヘロインとクエン酸を混ぜるときの毒性の混入物質が筋肉や他の組織を損傷させた可能性がある。この損傷があると、無害の細菌が重篤な感染症や毒物の産生の原因となるのかもしれない。今までのところ、クエン酸の様々な製造会社の分析では患者の病態を説明するようなものは確認されていないが、極度にpHが低いものもあった。

保健当局では、ひどい膿瘍や重篤な組織の炎症を呈した薬物使用者は病院に相談するように勧告している。注射による麻薬使用者には、'muscle-popping' (筋肉注射)や静脈外への注射を極力避けることが強く勧告されている。



感染症の話

(注) 今週の感染症の話は編集の都合上、前号と同じものを掲載しました。これまでは毎週異なる疾患について掲載しておりましたが、今後隔週程度で記事内容を更新することがありますので、ご了承下さい。

-IDWR編集委員長-

梅毒

疫学

梅毒は、世界中に広く分布している。

1943年にマホニーらがペニシリンによる治療に成功して以降その数は激減したが、その後、幾度かの再流行が各国で見られる。1960年代半ばには日本も含め、世界的再流行が見られた。最近では、日本では1987年を、米国では1990年をピークとする流行が見られたが、その後再び減少している。減少後も再び流行を見るという過去の経緯から考えると、現在の状況であっても今後について楽観することは許されない。

病原体

梅毒トレポネ - マ(学名: *Treponema pallidum* subsp. *pallidum*)。直径0.1～0.2micro meter、長さ6～20micro meterの屈曲した6～14施転の螺旋状菌(写真1)。通常の明視野光学顕微鏡では視認できず、暗視野顕微鏡で観察される。青い色彩からpallidum(英語のpale)の種名が与えられている。現在、試験管内での培養は不可能で、菌の維持その他には、ウサギの睾丸内での培養以外の現実的方法がない。培養の困難さもあり病原性の機構は殆ど解明されていないが、哺乳類の培養細胞への接着と侵入能が確認されており、病原性との関連が議論されている。1998年に全ゲノムのDNA配列が決定、公開され、この接着能を担うと予想される遺伝子群が見つかった。また、多くの菌で病原因子として働くヘモリジンの遺伝子が5コピー発見されたが、実際に病原性に関与する証拠はない。



写真1

感染形態

原因菌は低酸素状態でしか長く生存できないため、現実には感染形態、経路は限定される。大部分は菌を排出している感染者(後述の第1期、第2期の患者)との粘膜の接触を伴う性行為、疑似性行為である。極くまれに、多量の排出菌に汚染された物品と傷のある手指との接触による伝播も報告される。本菌の保存血中の生存期間についての研究や輸血用血液のスクリーニングが進み、我が国での保存血輸血による感染は見られない。しかし、臨床症状、血清反応とも見られない段階での第一潜伏期感染者からの、新鮮血緊急輸血等による感染の可能性はあるので注意が必要である。これら以外に、感染した妊婦の胎盤を通じた胎児への感染形態が先天梅毒(後述)の原因となる。

臨床症状

感染後3週間程度の潜伏期(第一潜伏期)を経て、経時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

第1期梅毒:(～3週)感染部位の病変)初期硬結(赤色)、硬性下疳、局所リンパ腺症(非常に硬性)。

第2期梅毒:(3～12週)血行性に全身に移行] 梅毒性バラ疹(体肢対称性) 発熱、倦怠感、リンパ腺症、粘膜疹、扁平コンジローマ、梅毒性脱毛、髄膜炎、頭痛、等。この時期の皮膚病変は極めて梅毒に特徴的なものであり、確定診断が最も容易である。

前期潜伏梅毒(1年以内) 後期潜伏梅毒(1年以降): 無症状。潜伏梅毒は時に第2期症状の再発を起こすが、その殆どが、1年以内であるため、その時期を特に前期潜伏梅毒として区別することが多い。

第3期梅毒: 1) 心臓血管梅毒(心血管への移行) [10～30年、アフリカ人種以外では稀) 大動脈瘤、大動脈弁逆流、冠状動脈動脈口狭窄

2) 神経梅毒(変性梅毒) [中枢神経への移行]

A) 無症状期:(～2年) 脳脊髄液中の白血球数、タンパクレベル上昇等のCSF異常のみの時期。

B) 急性梅毒髄膜炎:(～2年) 頭痛、錯乱

C) 上部神経麻痺:(～2年) 顔面、聴覚神経麻痺

D) 進行麻痺:(5～7年、男性の症例が有為に多い) 頭痛、めまい、人格障害、血管障害等

E) 脊髄癆:(10～20年、男性の症例が有為に多い、ペニシリン治療の普及で現在は稀) 進行性痴呆、疲労感、運動失調、脊髄根部疼痛、無反射症、アーガイルロバートソン瞳孔(反射性瞳孔硬直)等。

*D) E)の時期を特に「第4期梅毒」として区別する研究者も多い。

F) ガンマ:(～15年) ガンマ(ゴム腫) 結節性梅毒疹、などの肉芽腫、単球浸潤

先天梅毒: 1) 初期先天梅毒(出産後～2年) 骨軟骨症、貧血、肝脾腫、神経梅毒症状

2) 後期先天梅毒(2年以降) 角膜実質炎、リンパ腺症、肝脾腫、コンジローマ、貧血、ハッチンソン歯、聴覚神経障害(内耳性難聴)、回帰性関節症、神経梅毒症状

(Sibgh AE and Romanowski B: Syphilis: Review with emphasis on clinocal, epidemiologic and some biologic features. J Microbiology Review 1999,12:187-209.に基づいた分類)

病原診断

確定診断の理想は言うまでもなく、病原体の分離、検出であるが、第1期と皮膚病変のある第2期の場合を除き、それはかなり困難である。実際の診断は、多くの場合、前述した臨床症状に対する所見と血清(抗体)反応の組み合わせによって行うことになる。但し、第1期の症状が現れても血清反応の陽性化まで1週間程度のタイムラグがあるので、この時期には下疳等の病巣部から病原体検出を積極的に試みる。実際、この時期に限っては病原体検出は成功例が多い。

病原体検出法は、病巣部の浸出漿液をパーカーインキで染色して直接観察する方法である。

血清中の抗体は感染後、まず脂質であるカルジオリピンに対する抗体価が上昇し、次いでTreponemalに対する特異的抗体価が上昇する。抗カルジオリピン抗体は感染、治癒に応じて比較的良く上昇、下降するため、治療効果の判定にも利用されるが、抗原が梅毒に特異的なものではないので生物学的擬陽性反応がある。また、抗Treponema抗体は特異性は高いが、治癒後漸減こそするもののなかなか陰性化しないため、過去の梅毒感染との区別がつきにくい。そこで、血清

検査では、基本的に抗カルジオリピン抗体陽性でスクリーニング、次いで(場合によっては期間をおき)抗Treponema抗体も陽性であった場合に血清陽性として、臨床所見を組み合わせで診断する。

治療・予防

基本的にはペニシリンGの大量投与である。日本では、病期によらず、ペニシリンG(実際にはバイシリンなど。ABPCを用いるときもある)120万単位を2～4週、経口投与する方法が取られることが多い。米国では、筋注が基本的方法で、神経梅毒の場合、脊髄液中の濃度を高めるため、さらに5倍量程度のペニシリンを静注、さらに適宜、ペニシリン排泄阻害剤を併用している。ペニシリンアレルギーの患者の場合、テトラサイクリン、エリスロマイシンを使用するが、これらの薬剤は脊髄液への移行が悪いので、神経梅毒の場合、ペニシリン脱感作後にペニシリンを投与する方が良いとされる。妊婦も基本的に同様の処置を取るが、胎児への副作用があるため、テトラサイクリンは使用しない。妊婦がペニシリン処置をした場合、新生児は同時に治療できたと考えてもよいが、アレルギーのため、エリスロマイシンを使用した場合、本薬は胎盤を通過できないので、新生児は出産後改めて治療する必要がある。かつて使用されたクロラムフェニコールは、副作用として重篤な血液疾患をひき起こす場合があり、現在は使用しない。尚、現在、薬剤耐性菌の報告はない。治療効果の判定には抗カルジオリピン抗体の減少と臨床所見を経時的に追跡する。これは抗カルジオリピン抗体といえども、完全な陰性化は起こらないか、陰性化まで長期間を要する場合があるため、抗体価の絶対値ではなく、減少傾向を観察することに意義があるとされる。

予防としては、感染者、特に感染力の強い第1期及び第2期の感染者との性行為、疑似性行為を避けることが基本である。コンドームの使用は極めて高い効果があるが、疫学データからは、淋菌感染の場合ほど完全でないことが示唆されている。

感染症新法の中での梅毒の取扱い

梅毒は第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

1) 先天梅毒以外の場合

梅毒が疑われ、以下のいずれかの方法によって検査所見による診断がなされたもの。

・病原体の検出

例: 発疹からパーカーインク法などで*T.pallidum*が認められた場合など

・血清抗体の検出(以下の(1)と(2)の両方に該当する場合)

(1) カルジオリピンを抗原とする以下のいずれかの検査で陽性のもの

・RPRカードテスト

・凝集法

・ガラス板法

(2) *Treponema pallidum*を抗原とする以下のいずれかの検査に陽性のもの

・TPHA法

・FTA-ABS法

報告にあたっては、以下の3つに分類して報告する。

1. 早期顕症梅毒

ア. 1期梅毒に特有な局所所見(初期硬結、硬性下疳など)を有する症例

イ. 2期梅毒に特有な局所または全身的な皮膚症状(梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹など)を呈する症例

2. 晩期顕症梅毒

ゴム種、梅毒によると考えられる心血管症状、神経症状、眼症状などが認められる症例。

3. 無症候梅毒

臨床症状は認められないが治療が必要と考えられ、RPRカードテスト、凝集法またはガラス板法で16倍以上陽性の症例。

2) 先天梅毒

梅毒に罹患している母体から出生した児であって、下記の5つのうち、いずれかの要件をみたすもの。

(1)母体の血清抗体価に比して、児の血清抗体価が著しく高い場合

(2)血清抗体価が移行抗体の推移から予想される値を高く越えて持続

(3)TPHA・IgM抗体陽性

(4)2期梅毒疹、骨軟骨炎など早期先天梅毒の症状を呈する場合

(5)乳幼児期は症状を示さずに経過し、学童期以後にゴム種、Hutchinson3徴候(実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson歯)などの晩期先天梅毒の症状を呈する場合

(国立感染症研究所 細菌部 中山周一)



読者のコーナー

A県S小学校より
 定点当たり報告数とはどういう基準ですか？

「定点当たり報告数」について

まず一言で説明しますと、全国の医療機関の中から感染症発生動向調査の観測用に抽出された医療機関を定点と呼びますが、その週(又は月)に定点一つ当たりでどの位の患者報告数があったかを表す数値です。例えば、全国(またはある都道府県)で、インフルエンザの報告数が定点当たり10人ということは、全国(またはある都道府県)の定点からのインフルエンザ患者の報告総数を定点数で割り算して、1定点当たりの平均値が10人であったということになります。

もう少し具体的に説明してみますと、昨年4月から施行されています「感染症の予防及び感染症の患者の医療に関する法律」においては、感染症は1類感染症から4類感染症に分類され、4類感染症はさらに患者数の少ない感染症を全数把握対象として、患者数の多い感染症を定点把握対象として、二つに細分化されています。1類感染症から3類感染症と全数把握対象の4類感染症は、患者を診断した全ての医師が保健所へ届け出なければなりません。定点把握対象の4類感染症は、定点(医療機関)を設定し、その定点で診断された患者数のみが保健所に報告されます。この定点数は、感染症の流行状況について可能な限り日本全体の傾向を反映するように設計されており、インフルエンザ定点約5,000ヶ所(小児科定点を含む)、小児科定点約3,000ヶ所、眼科定点約600ヶ所、STD定点約900ヶ所及び基幹定点約500ヶ所が指定されています。

(参考)定点把握対象の4類感染症

インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発疹、百日咳、風疹、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、急性脳炎、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローム、淋菌感染症、メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

(回答担当 : 国立感染症研究所感染症情報センター)

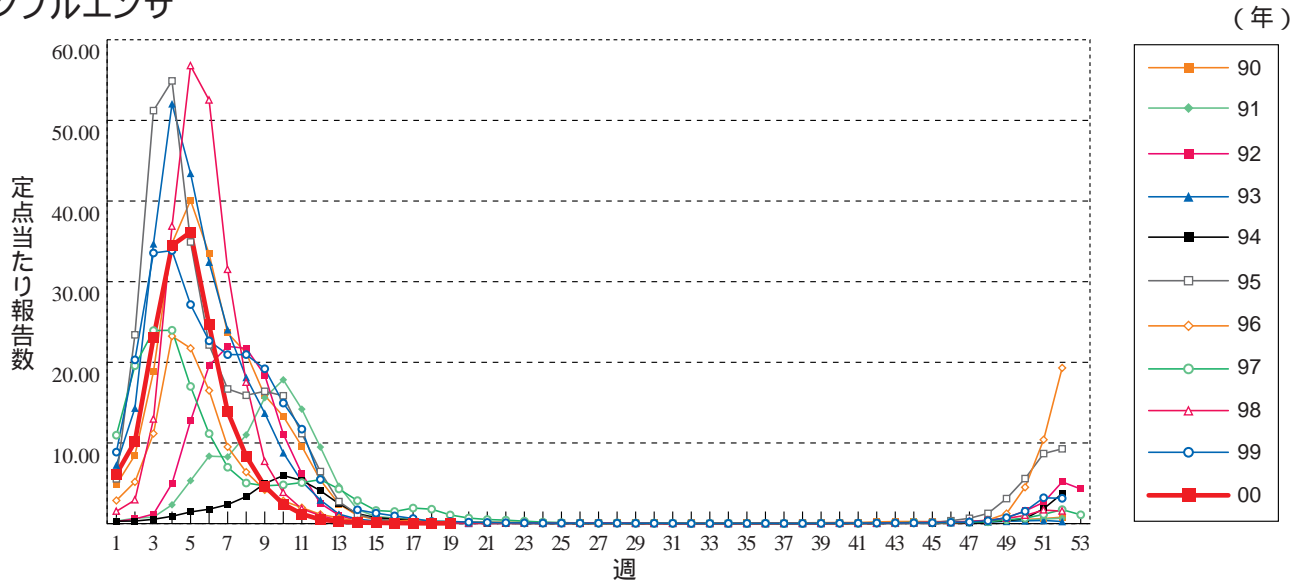
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
 ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

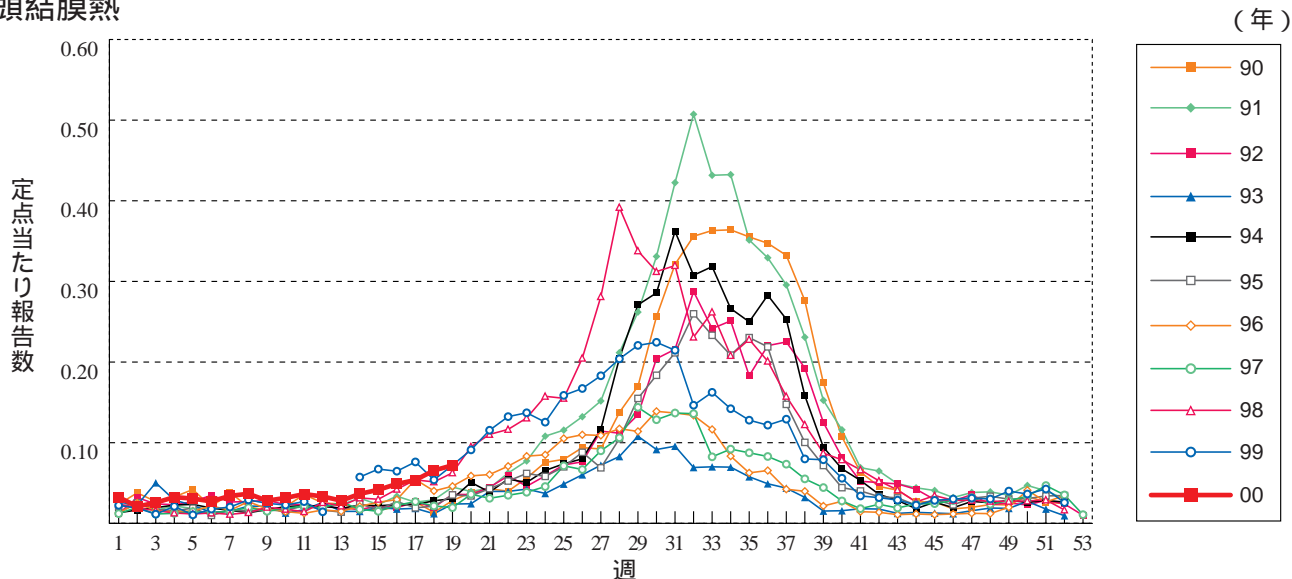


グラフ総覧(19週)

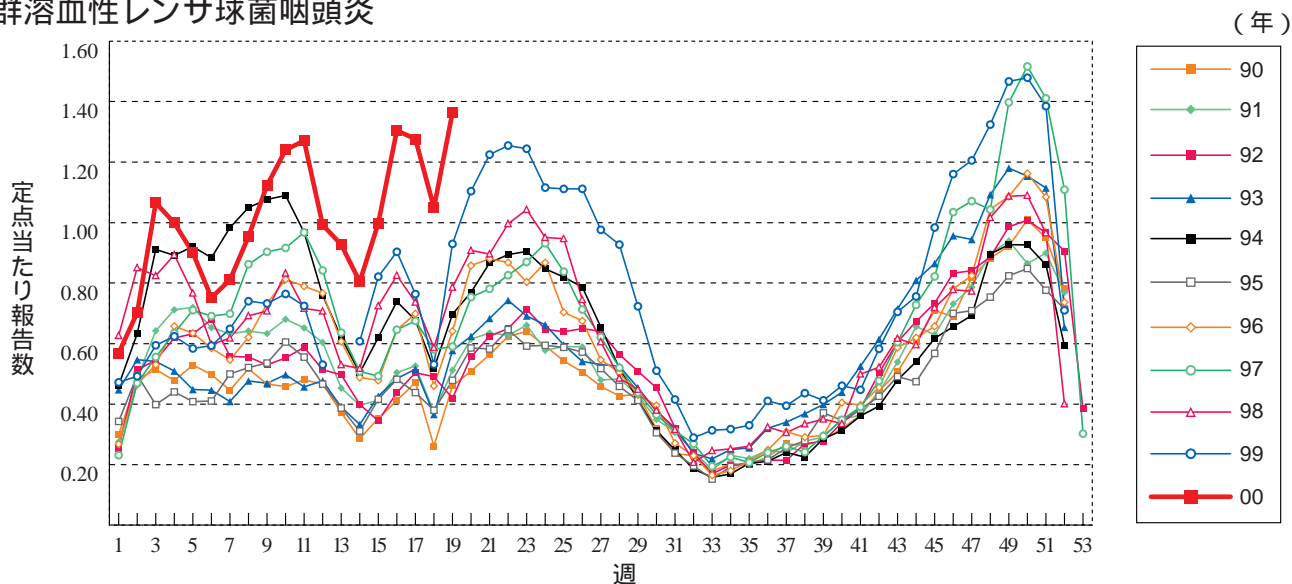
インフルエンザ



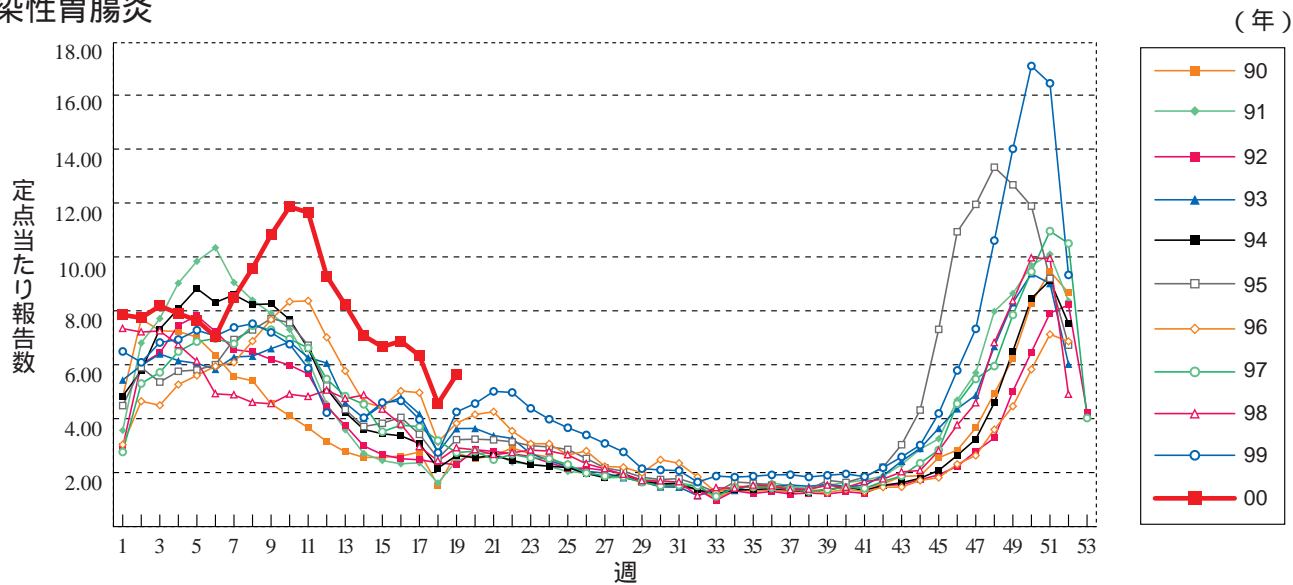
咽頭結膜熱



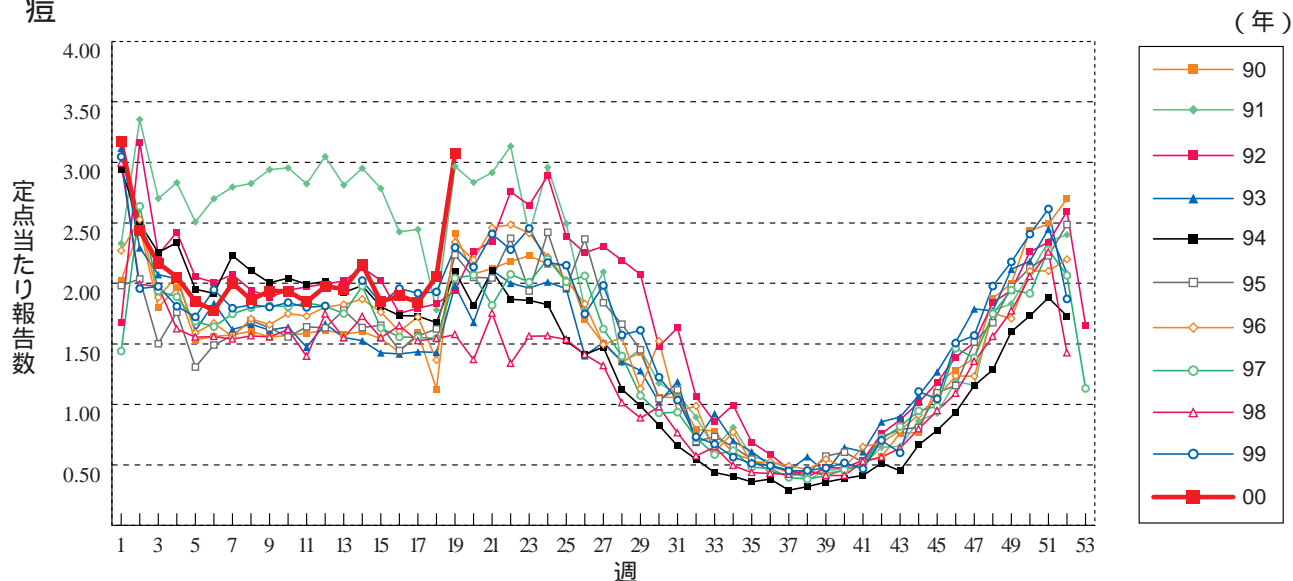
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



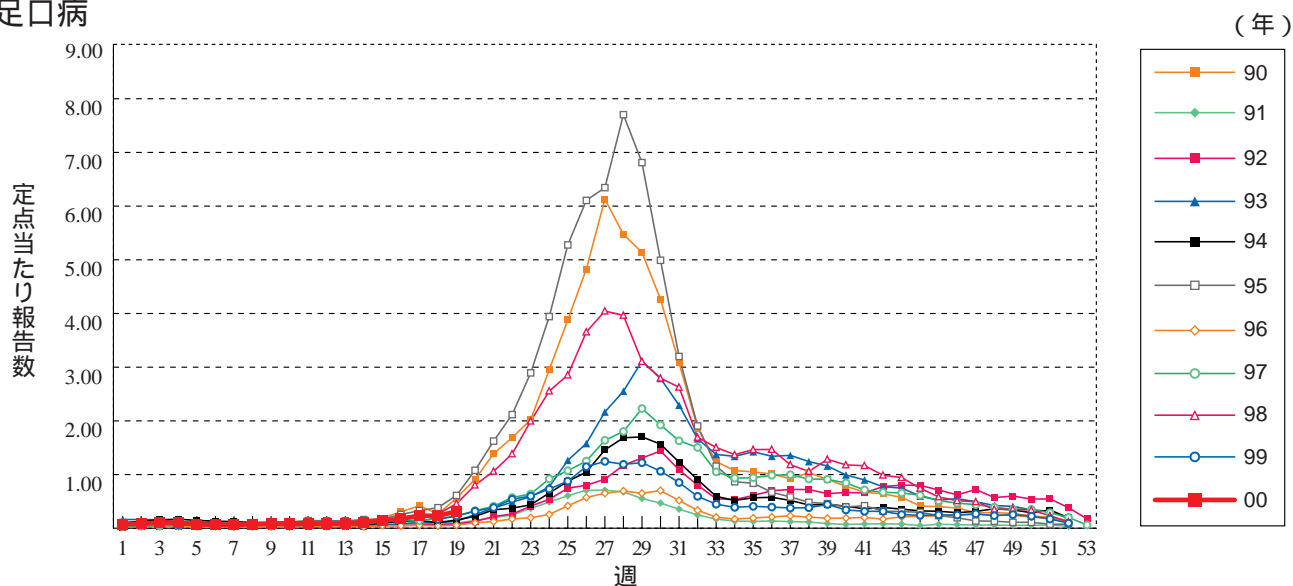
感染性胃腸炎



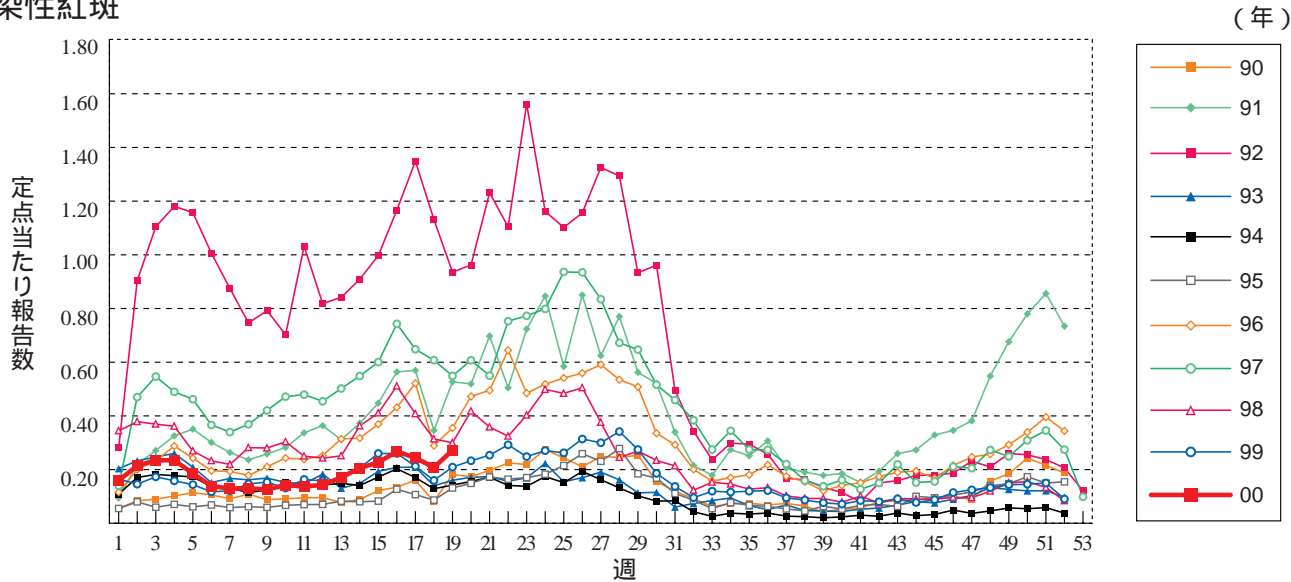
水痘



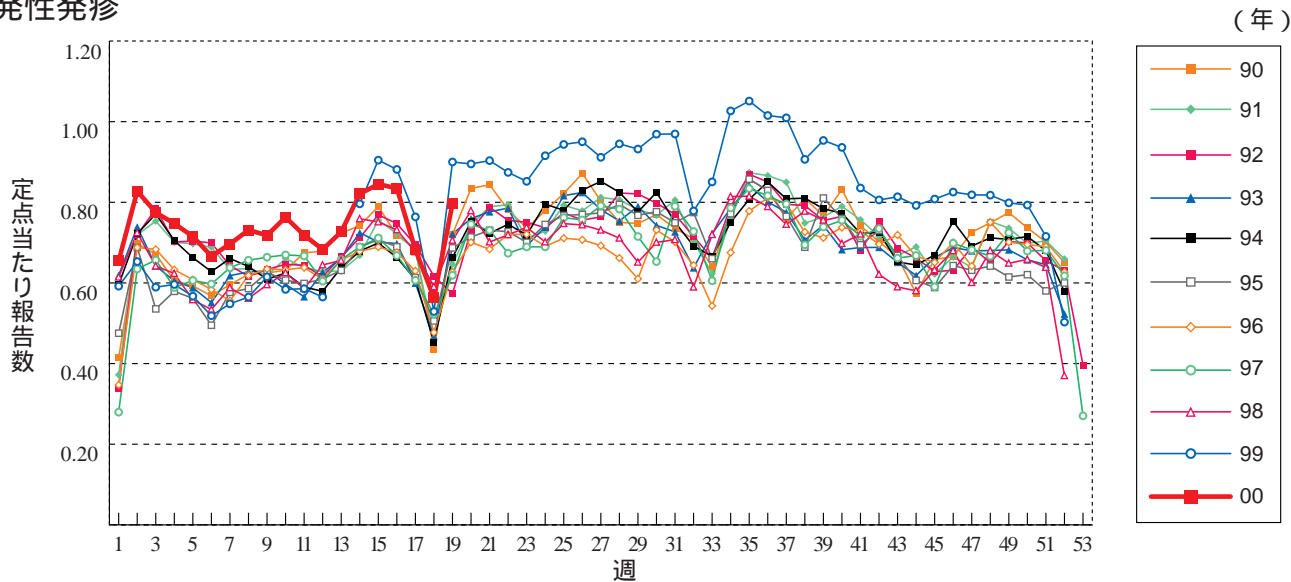
手足口病



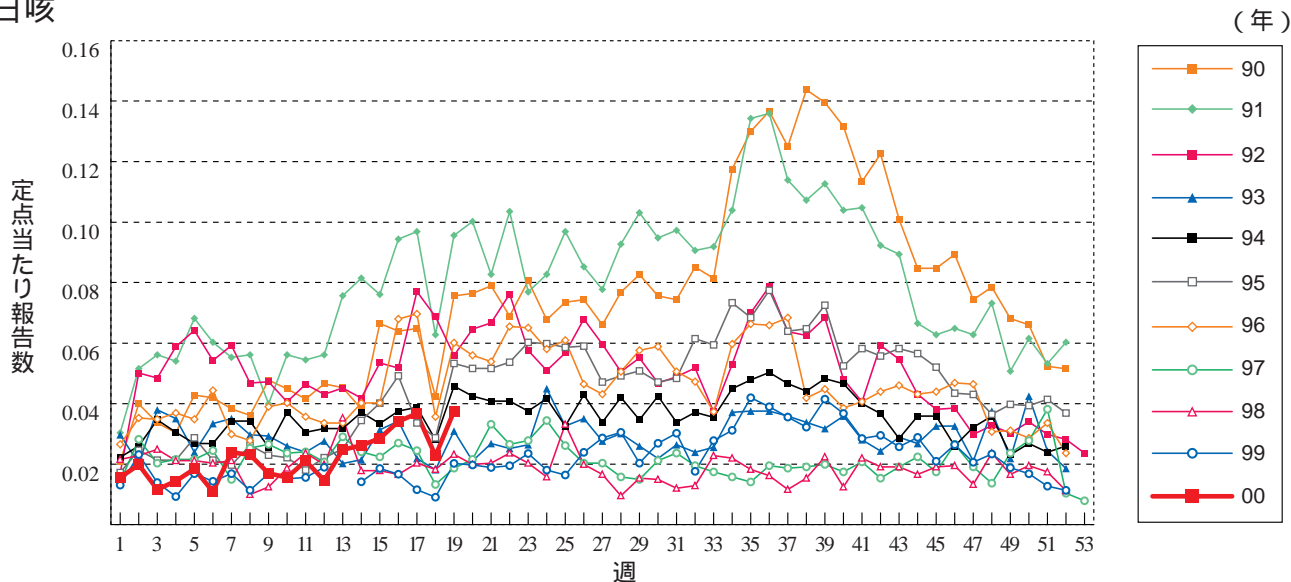
伝染性紅斑



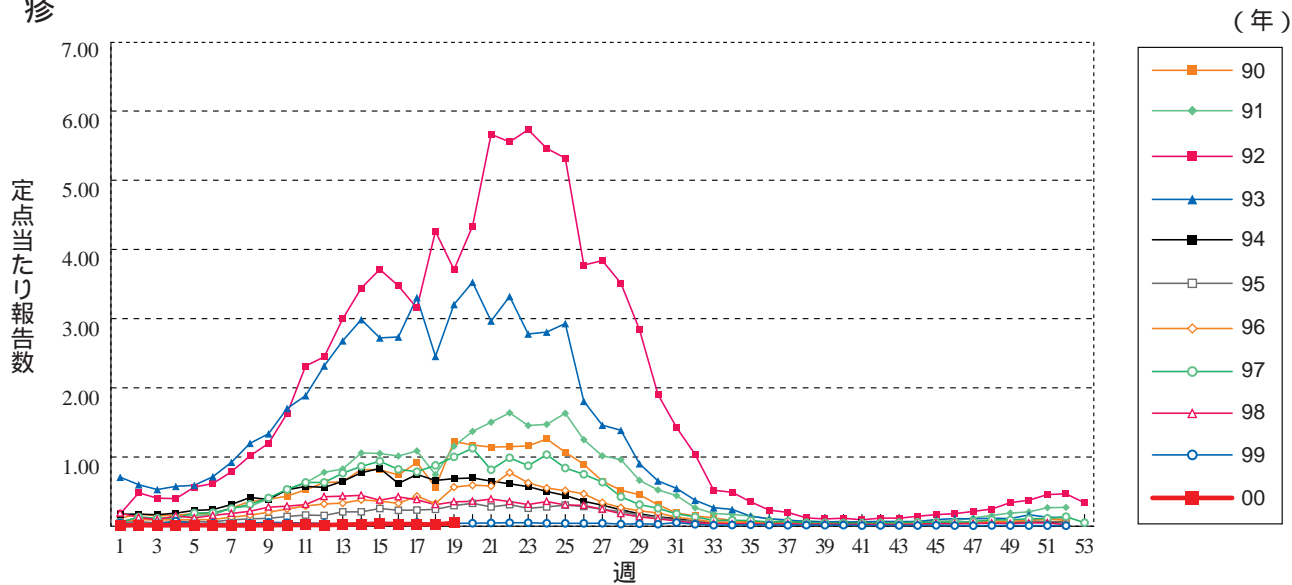
突発性発疹



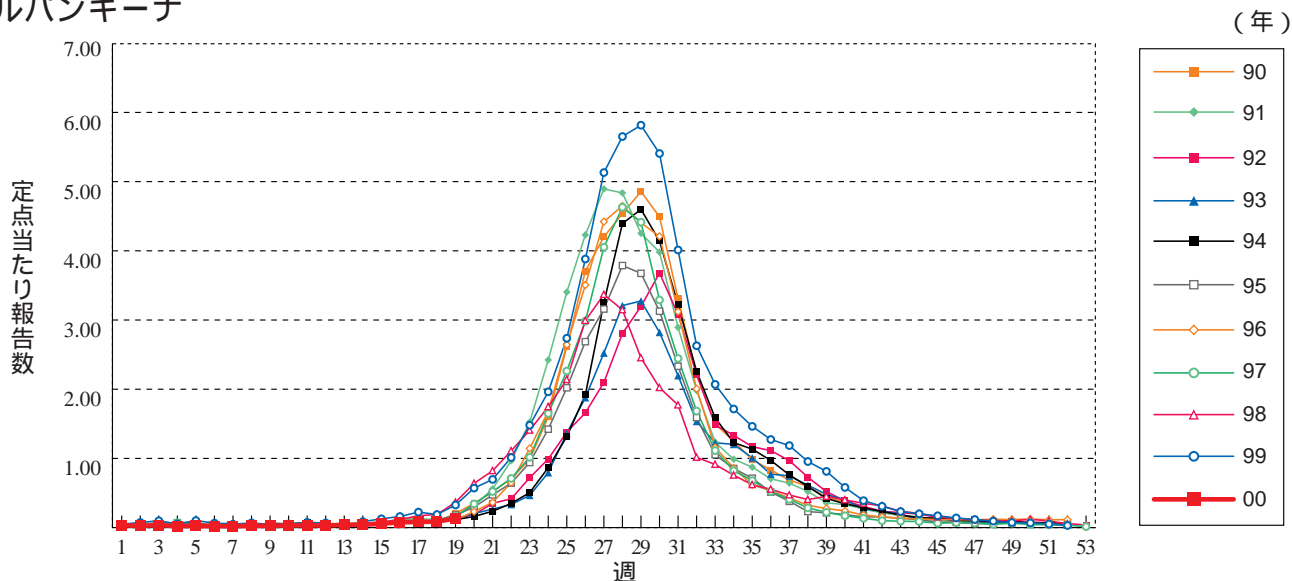
百日咳



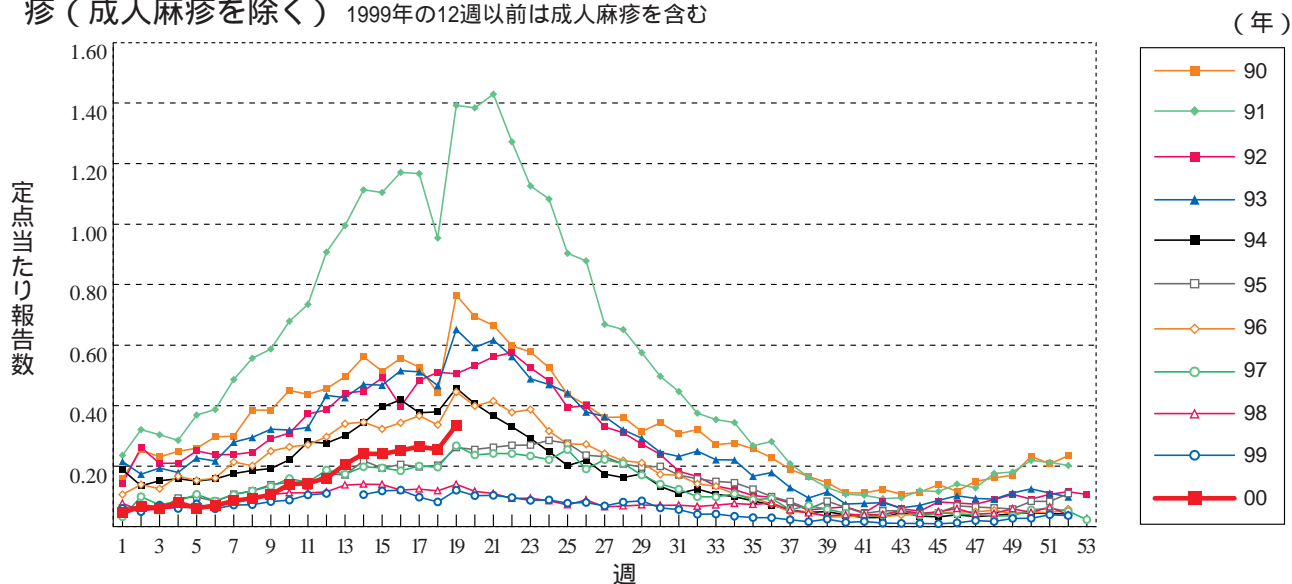
風 疹



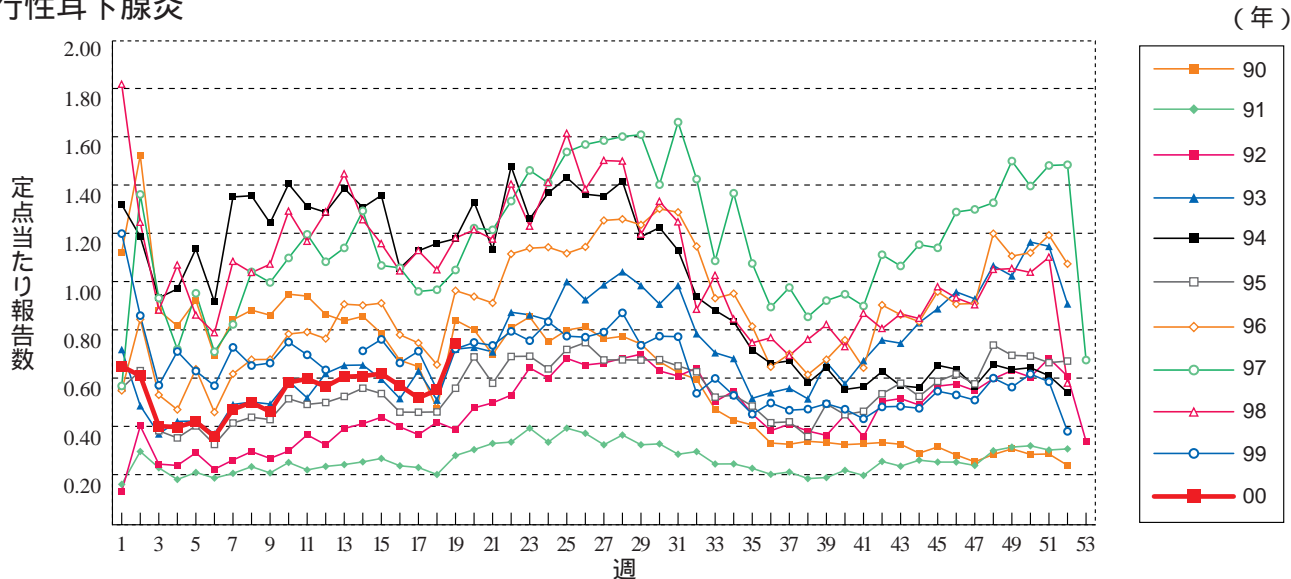
ヘルパンギーナ



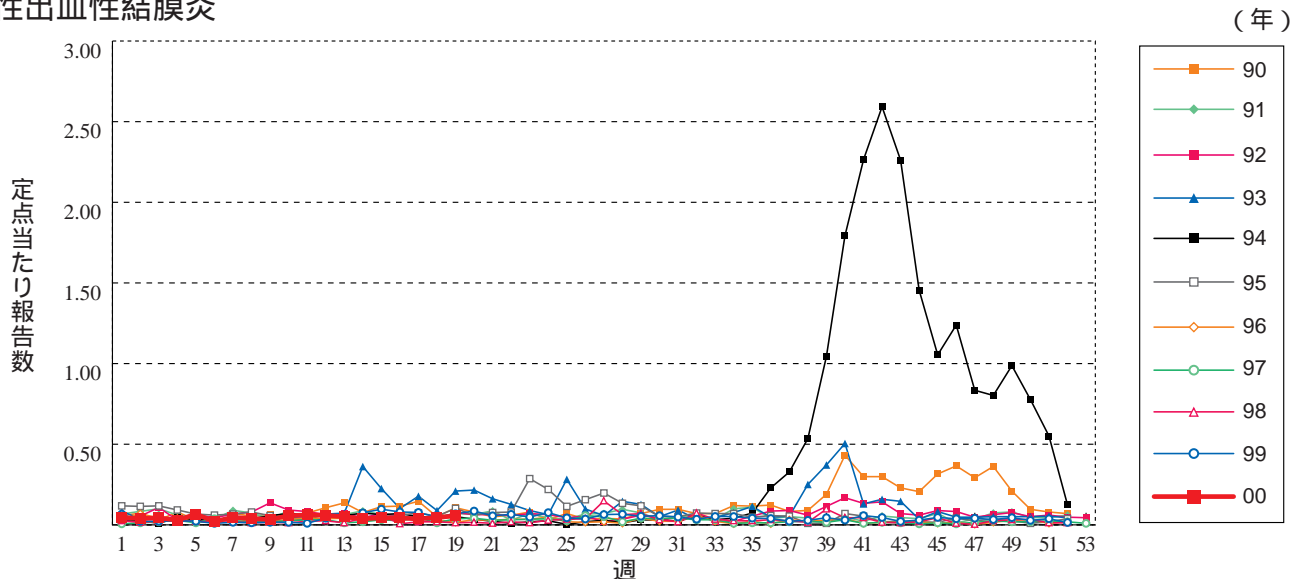
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



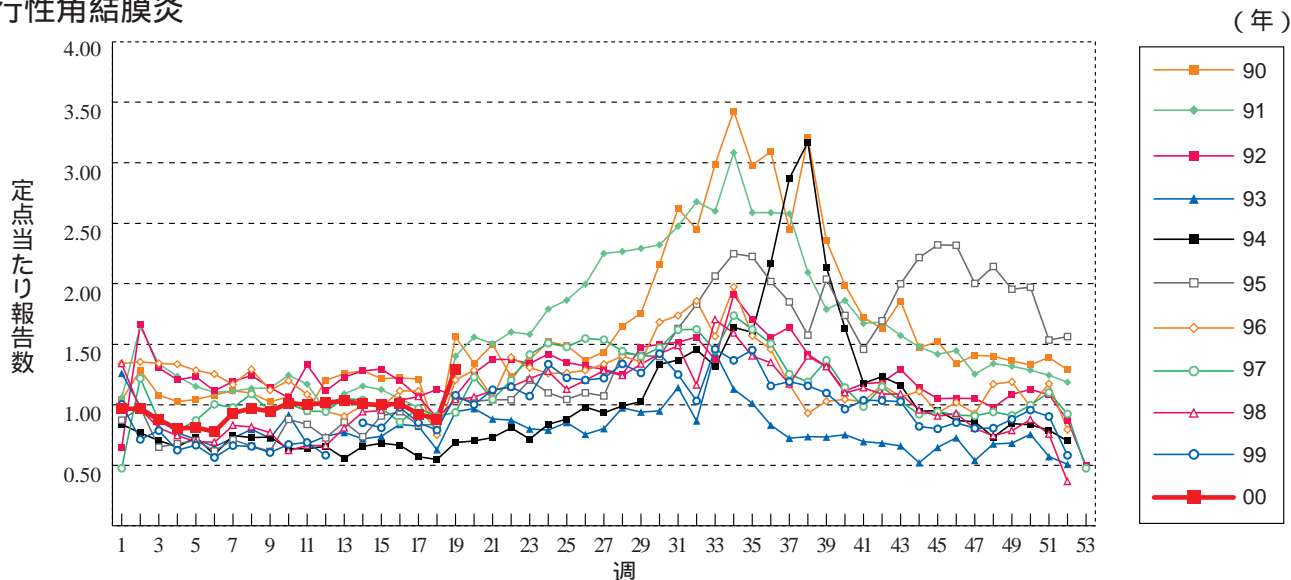
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

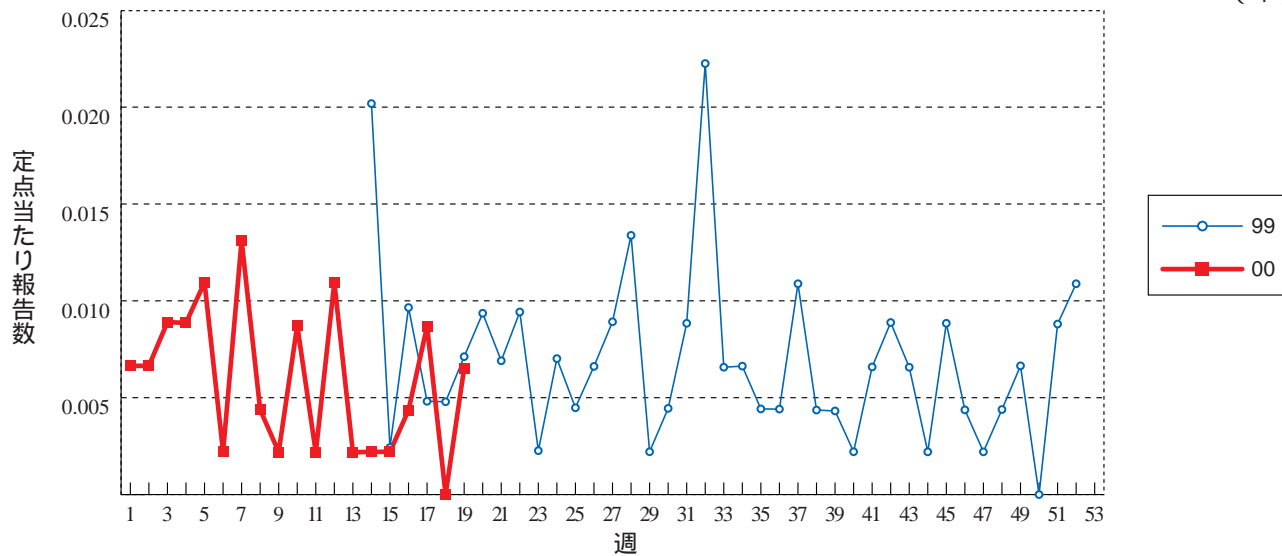


流行性角結膜炎



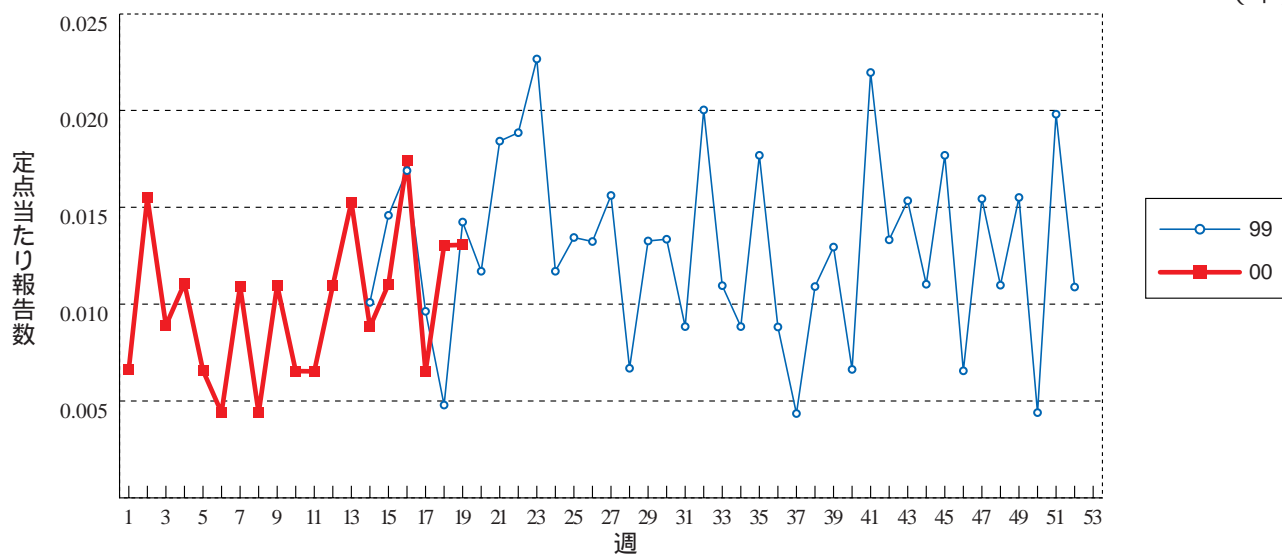
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



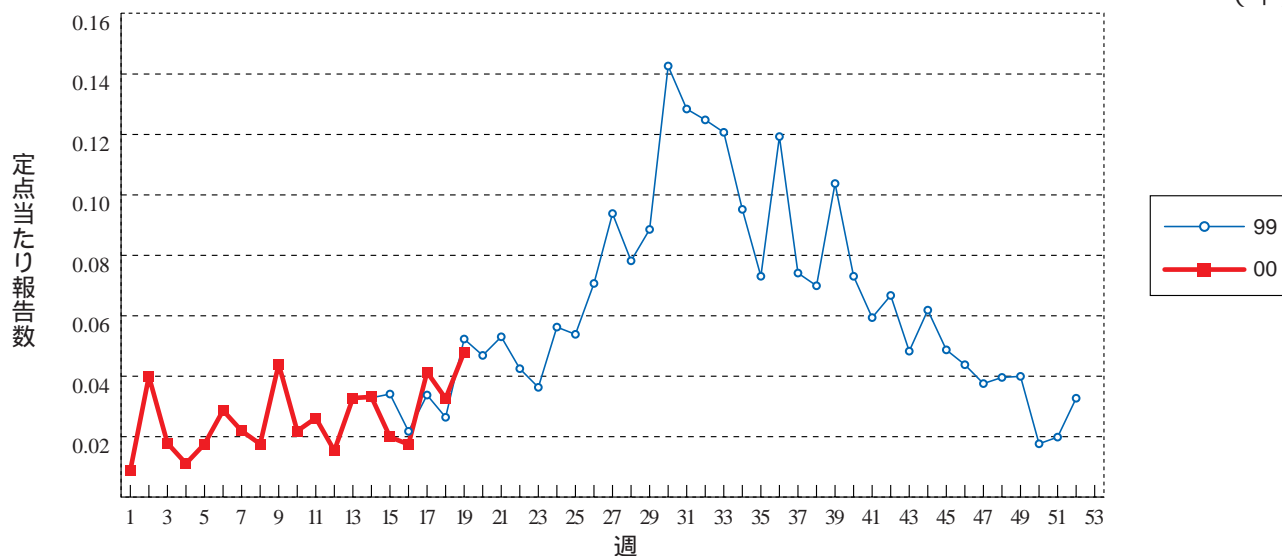
細菌性髄膜炎

(年)



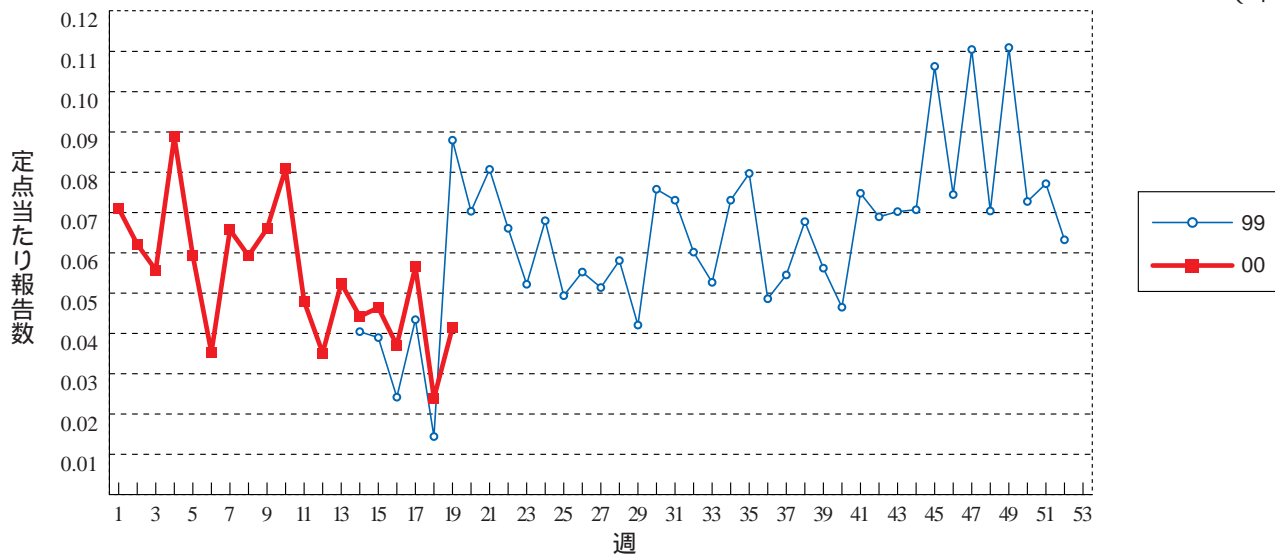
無菌性髄膜炎

(年)



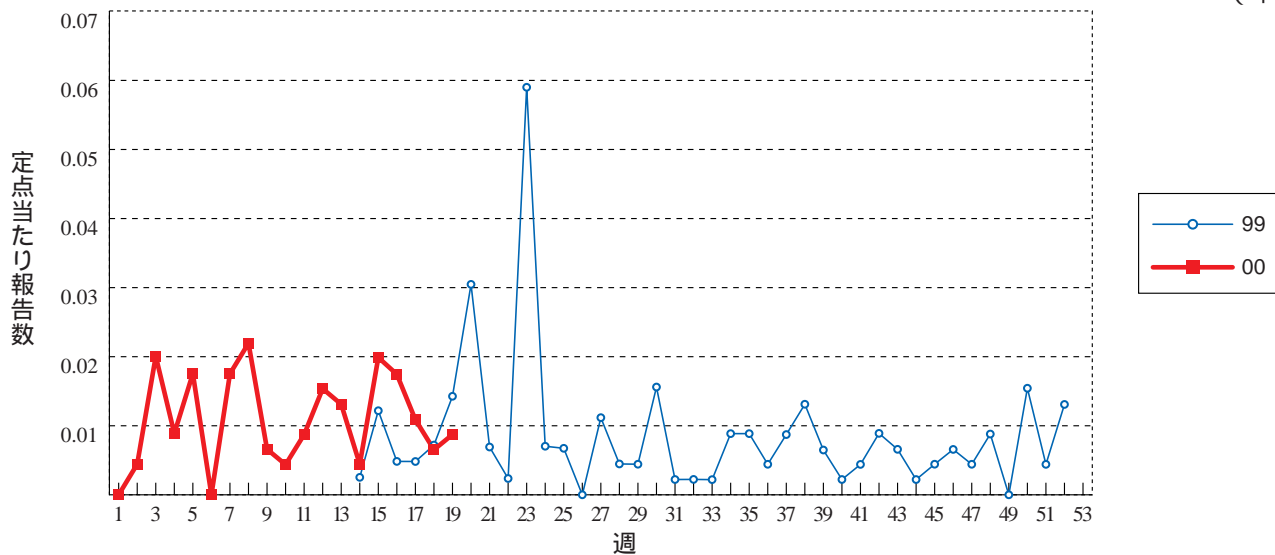
マイコプラズマ肺炎

(年)



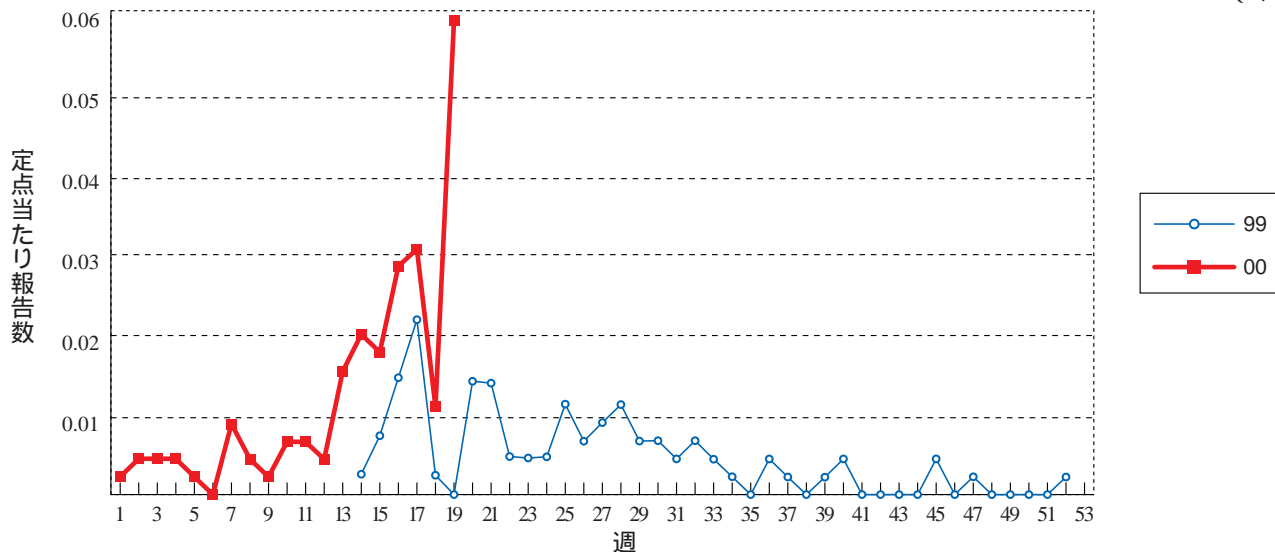
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

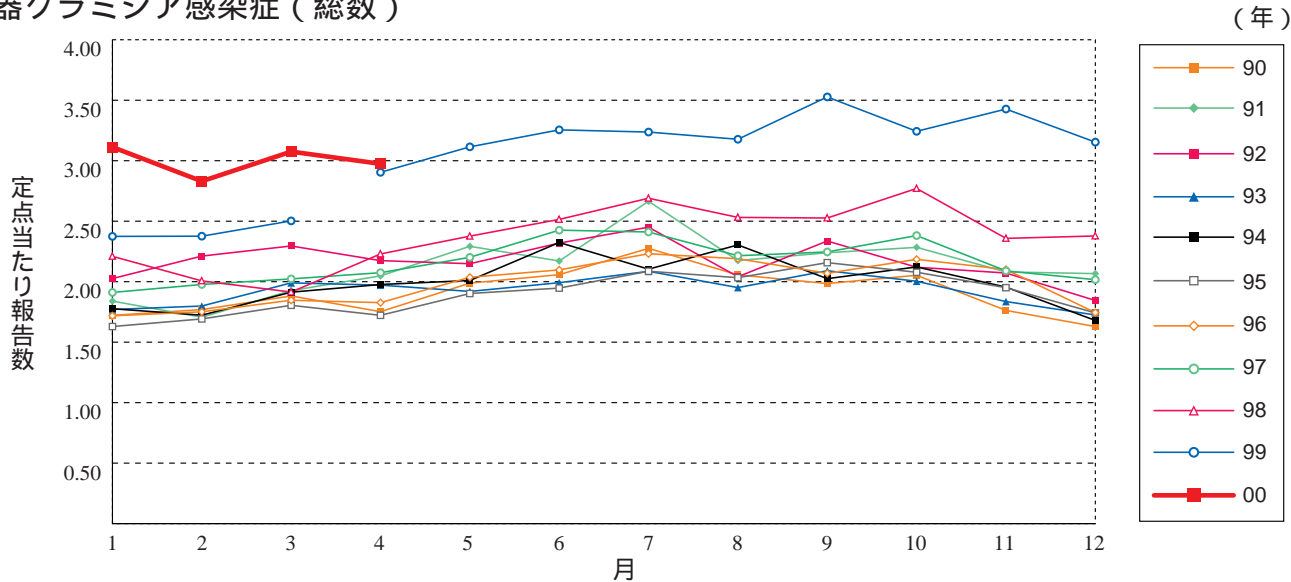




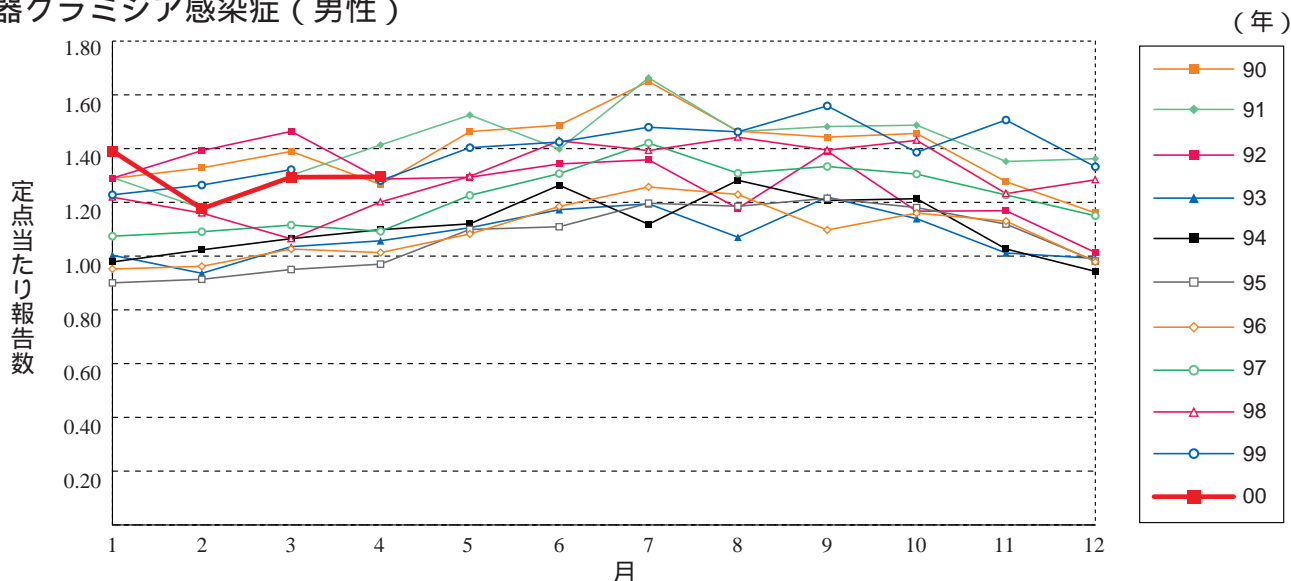
グラフ総覧(4月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

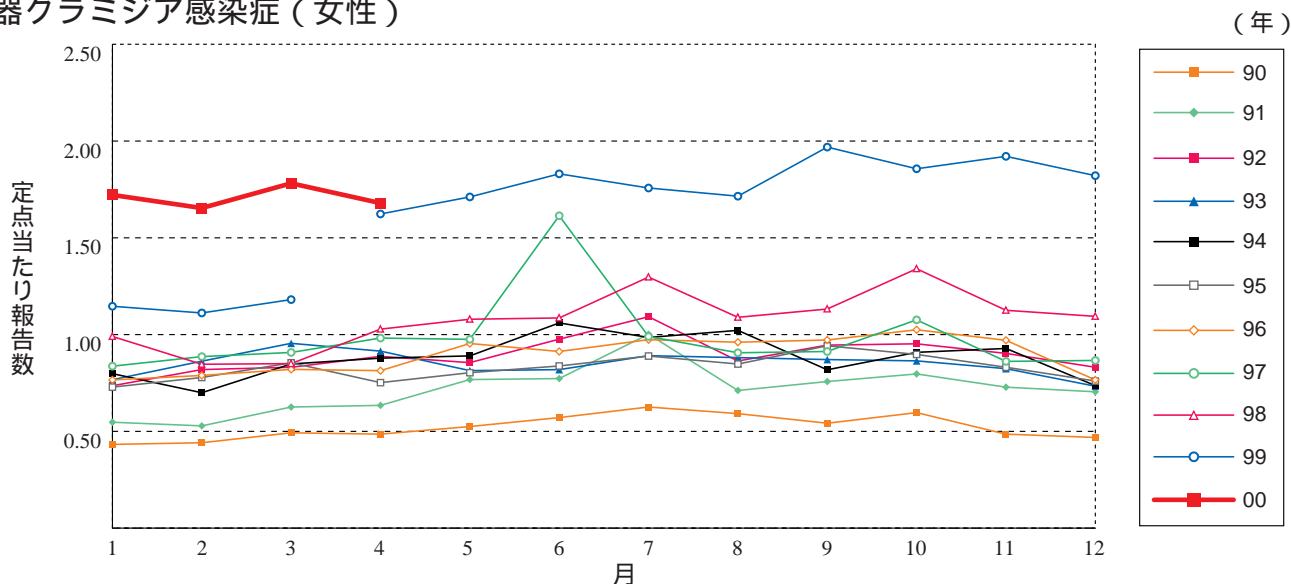
性器クラミジア感染症(総数)



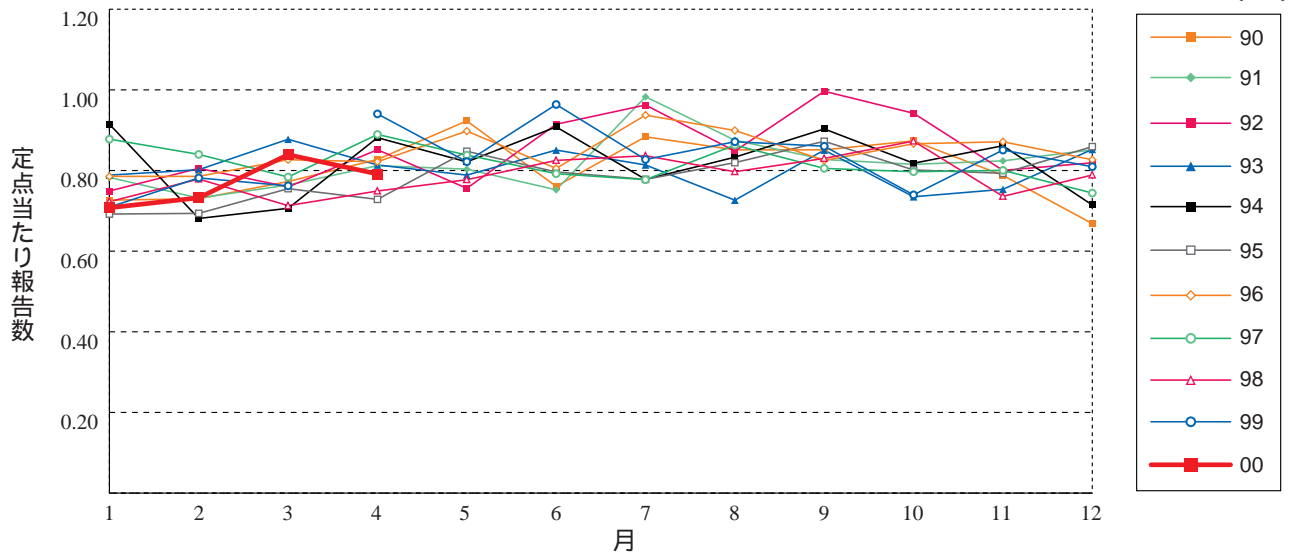
性器クラミジア感染症(男性)



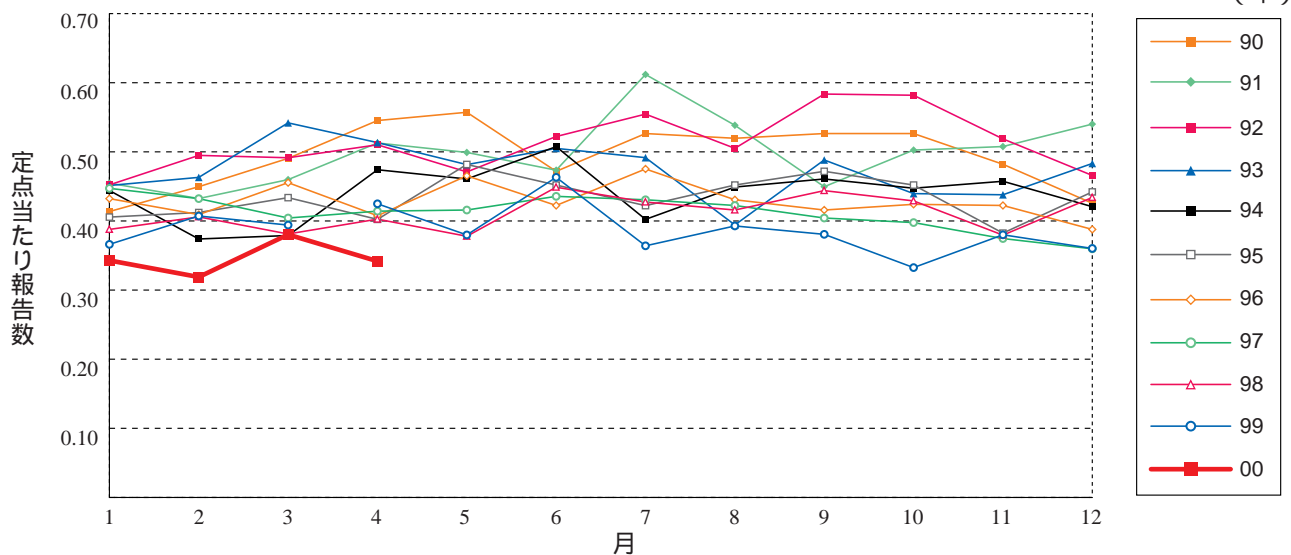
性器クラミジア感染症(女性)



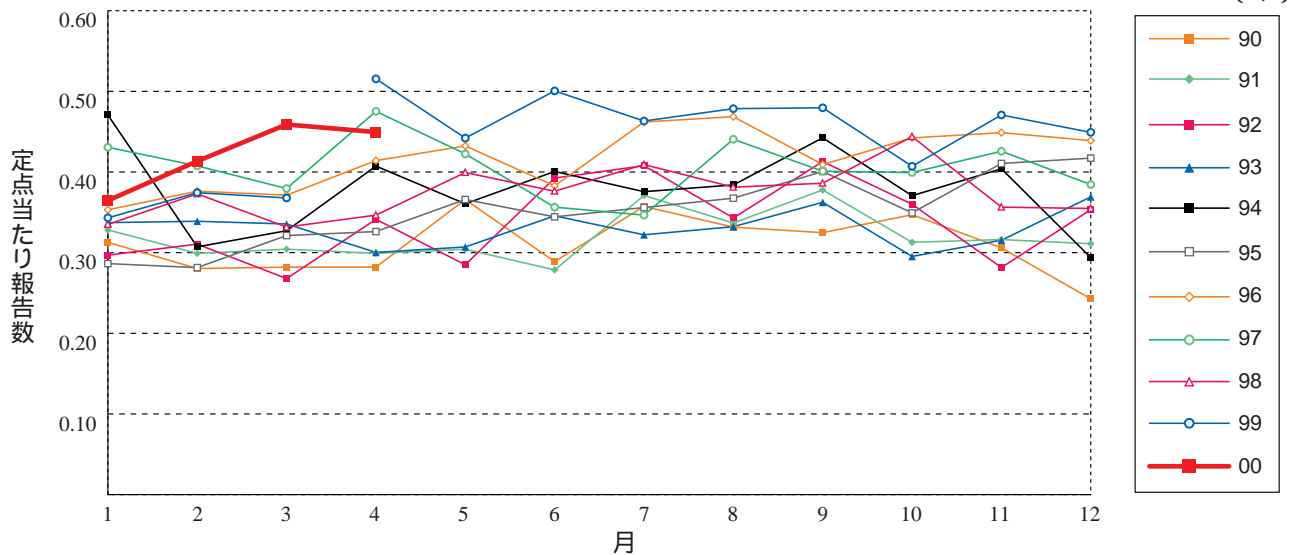
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



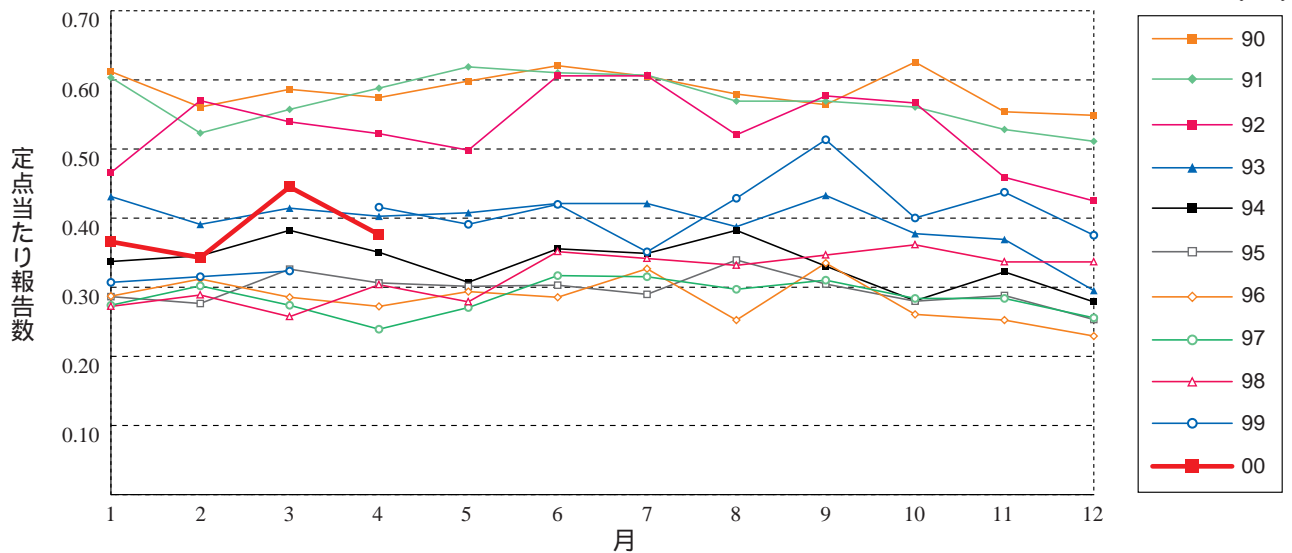
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



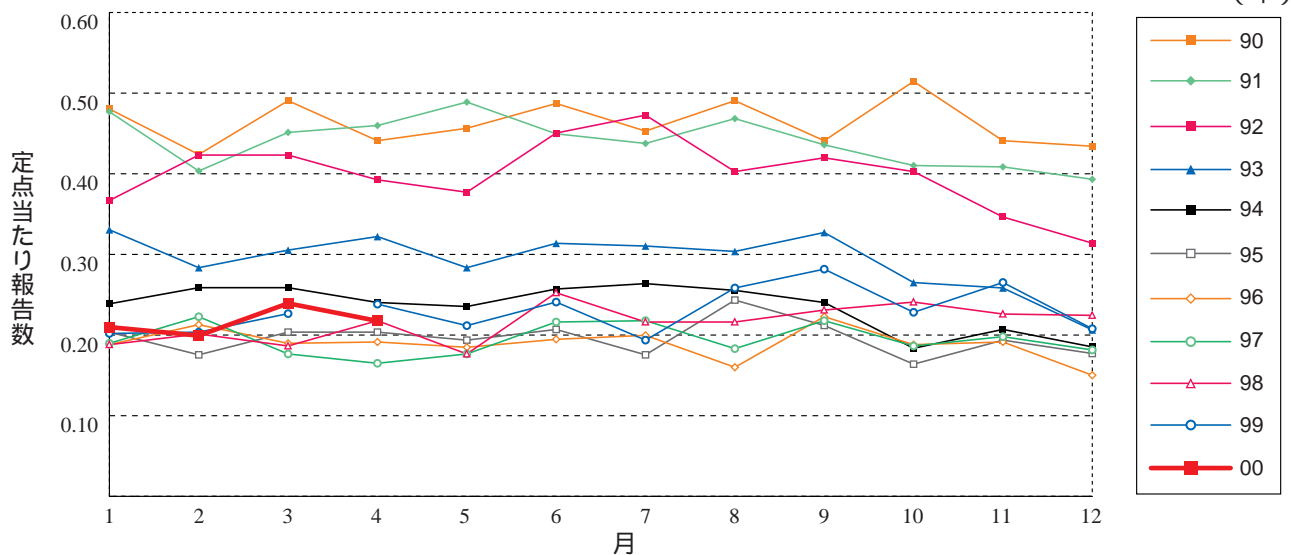
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



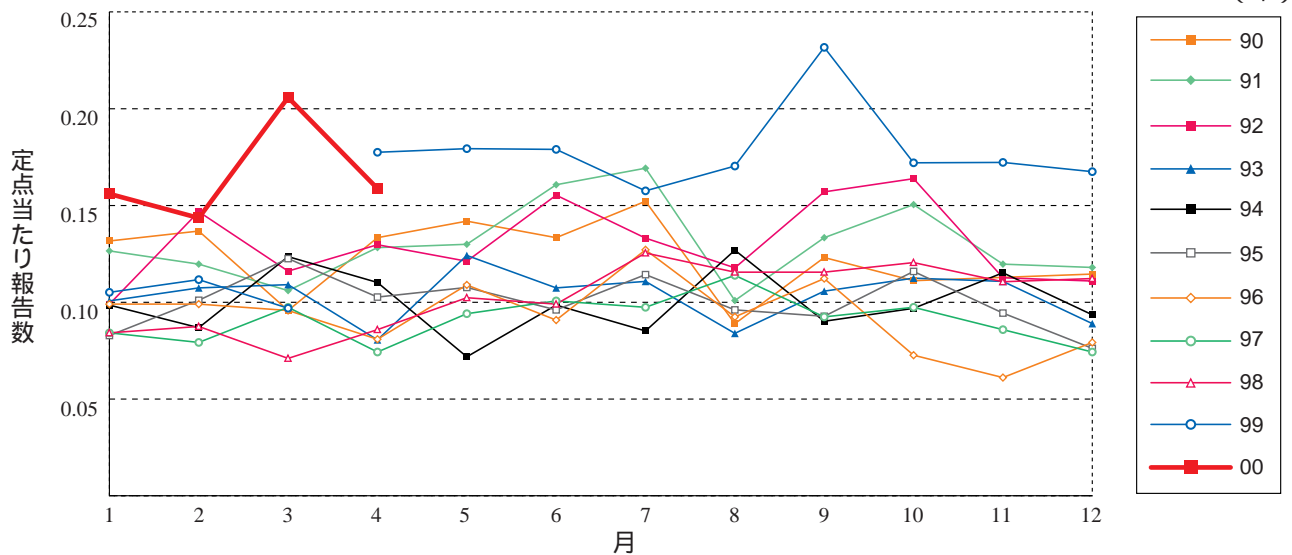
尖形コンジローム (総数)



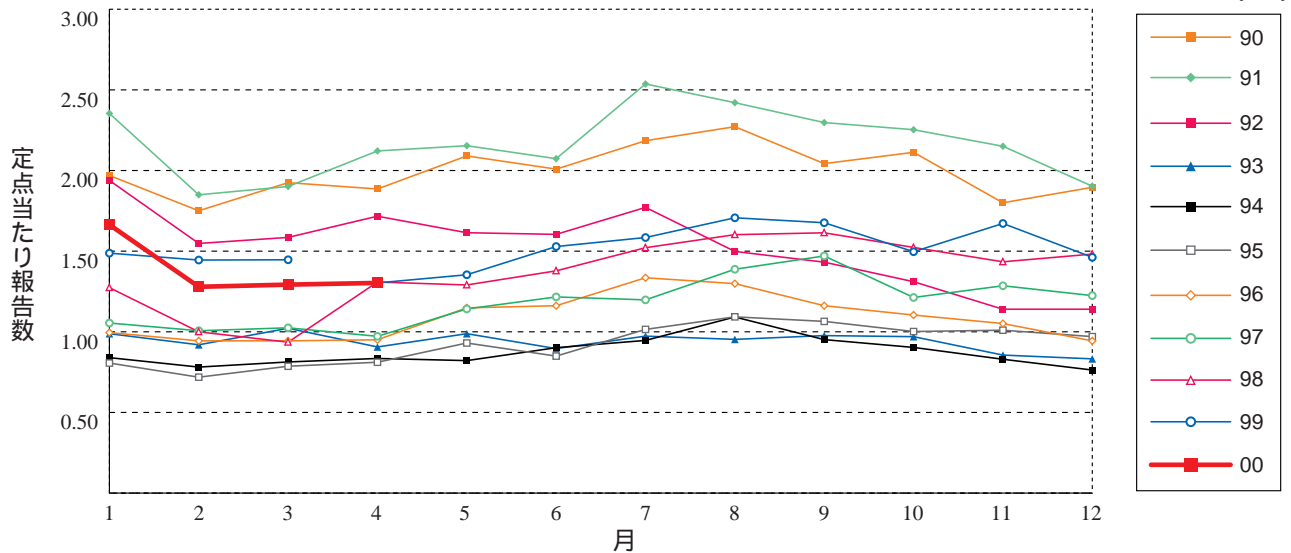
尖形コンジローム (男性)



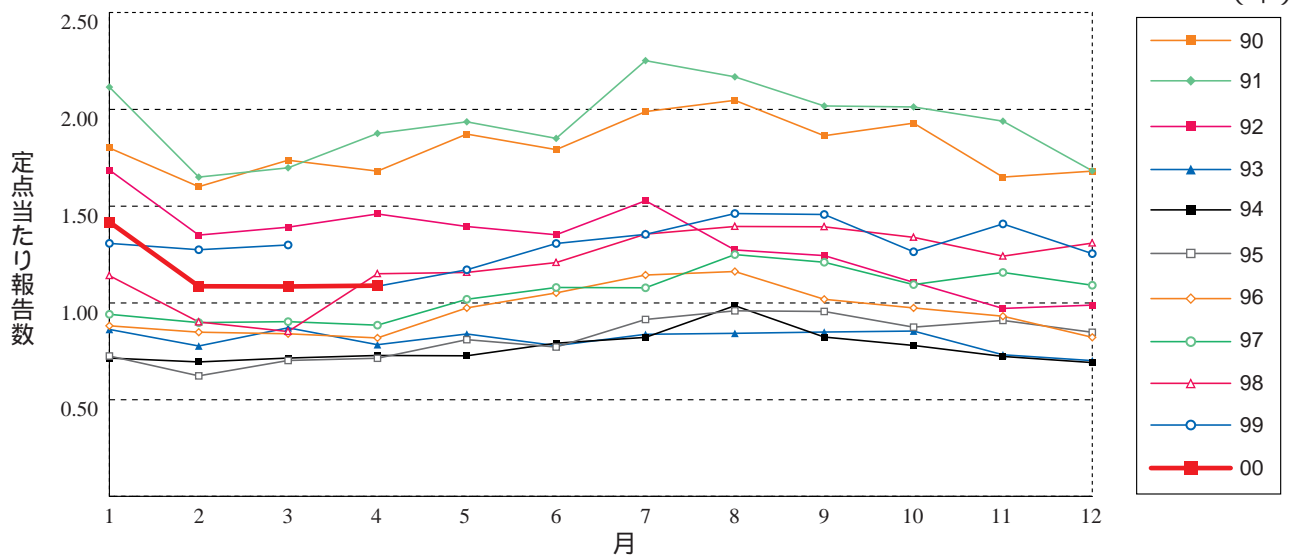
尖形コンジローム (女性)



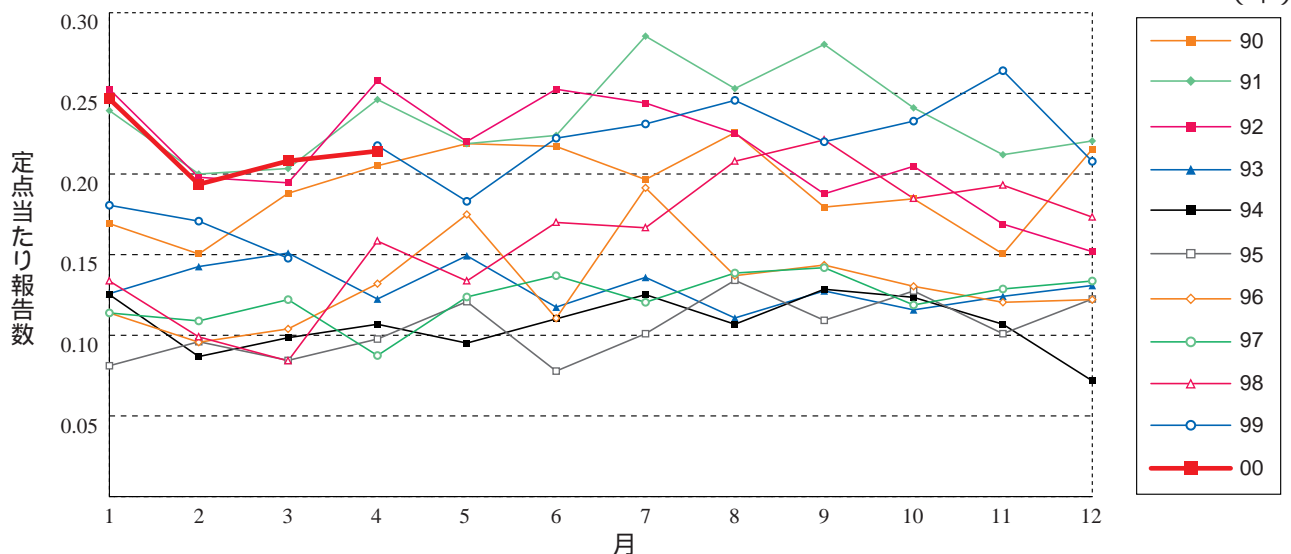
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

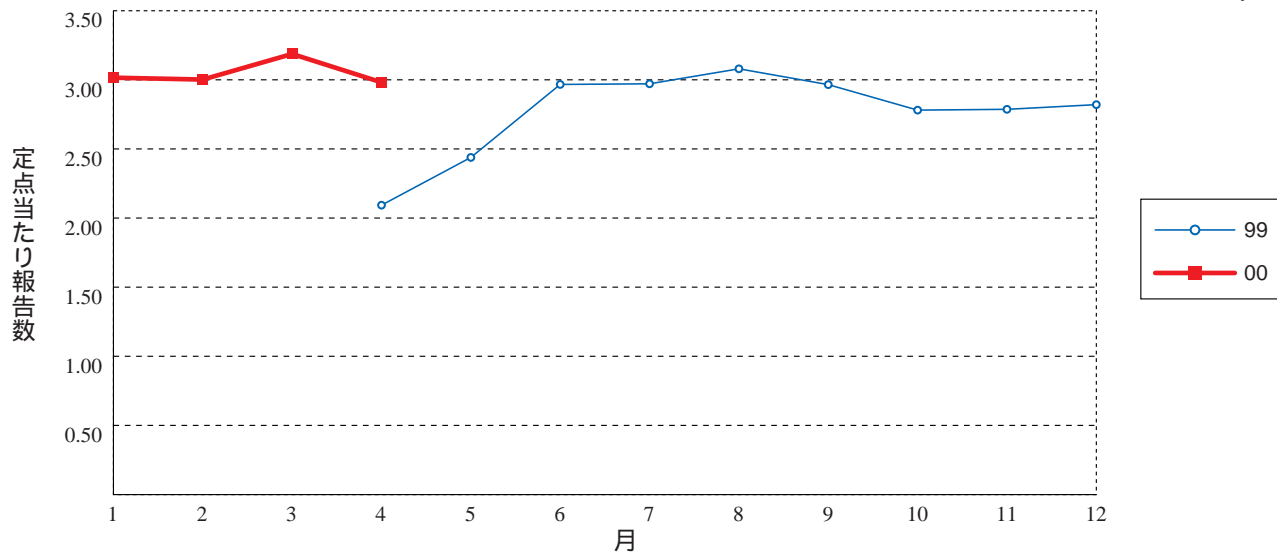


淋菌感染症 (女性)



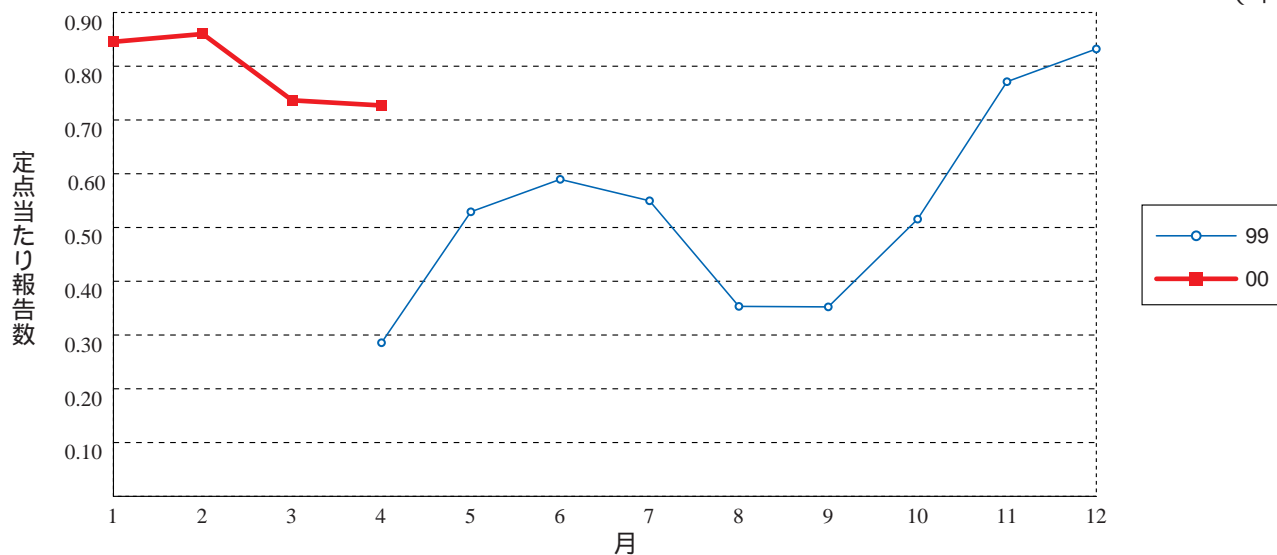
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



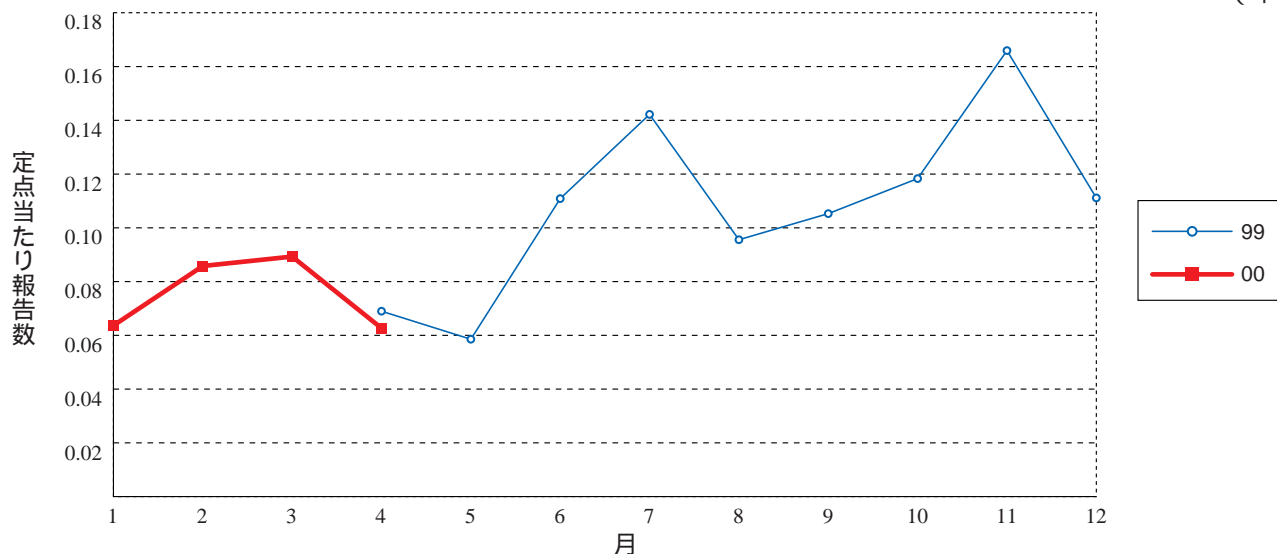
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





4月のデータ

注)表中の報告数は5月12日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成12年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2680	2.97	713	0.79	339	0.38	1174	1.30	1333	2.98	325	0.73	28	0.06
北海道	163	3.62	35	0.78	19	0.42	60	1.33	38	1.65	3	0.13	-	-
青森県	34	2.43	9	0.64	5	0.36	11	0.79	9	1.50	-	-	-	-
岩手県	45	3.46	13	1.00	12	0.92	10	0.77	56	2.80	6	0.30	1	0.05
宮城県	82	4.56	23	1.28	12	0.67	17	0.94	53	4.42	24	2.00	1	0.08
秋田県	14	1.00	3	0.21	3	0.21	3	0.21	9	1.29	10	1.43	-	-
山形県	25	2.50	4	0.40	-	-	5	0.50	32	3.56	8	0.89	1	0.11
福島県	35	2.19	7	0.44	3	0.19	10	0.63	2	0.33	-	-	-	-
茨城県	73	3.48	15	0.71	4	0.19	28	1.33	16	1.60	-	-	-	-
栃木県	43	2.87	6	0.40	4	0.27	21	1.40	20	2.86	2	0.29	-	-
群馬県	120	4.80	10	0.40	4	0.16	45	1.80	27	2.70	5	0.50	2	0.20
埼玉県	209	4.10	34	0.67	24	0.47	50	0.98	17	1.89	2	0.22	2	0.22
千葉県	69	1.64	33	0.79	14	0.33	22	0.52	34	3.78	55	6.11	-	-
東京都	236	5.76	75	1.83	48	1.17	110	2.68	80	4.21	19	1.00	4	0.21
神奈川県	96	1.63	23	0.39	10	0.17	51	0.86	34	3.09	14	1.27	-	-
新潟県	31	1.63	8	0.42	5	0.26	35	1.84	30	2.31	9	0.69	-	-
富山県	27	3.86	2	0.29	4	0.57	3	0.43	32	6.40	4	0.80	1	0.20
石川県	28	2.80	5	0.50	3	0.30	9	0.90	9	1.80	10	2.00	-	-
福井県	16	3.20	1	0.20	-	-	3	0.60	38	6.33	15	2.50	-	-
山梨県	16	2.67	-	-	-	-	9	1.50	18	1.80	20	2.00	-	-
長野県	47	3.13	7	0.47	5	0.33	11	0.73	22	2.00	7	0.64	-	-
岐阜県	16	1.07	14	0.93	3	0.20	10	0.67	17	3.40	4	0.80	-	-
静岡県	88	3.26	7	0.26	4	0.15	13	0.48	54	6.00	10	1.11	-	-
愛知県	167	3.27	25	0.49	22	0.43	77	1.51	33	2.54	1	0.08	-	-
三重県	36	2.40	7	0.47	-	-	9	0.60	73	8.11	2	0.22	-	-
滋賀県	7	0.78	-	-	1	0.11	7	0.78	23	3.29	1	0.14	1	0.14
京都府	32	1.39	16	0.70	3	0.13	5	0.22	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	289	5.07	152	2.67	53	0.93	228	4.00	23	2.88	1	0.13	-	-
兵庫県	90	1.96	24	0.52	8	0.17	45	0.98	29	2.42	6	0.50	-	-
奈良県	15	1.67	4	0.44	6	0.67	12	1.33	23	3.83	10	1.67	-	-
和歌山県	2	0.25	8	1.00	2	0.25	4	0.50	20	1.82	2	0.18	3	0.27
鳥取県	24	4.80	-	-	-	-	-	-	10	2.00	-	-	-	-
島根県	10	2.00	4	0.80	-	-	6	1.20	56	7.00	7	0.88	-	-
岡山県	44	2.59	7	0.41	4	0.24	17	1.00	9	1.80	-	-	-	-
広島県	52	2.00	11	0.42	10	0.38	16	0.62	59	2.81	7	0.33	4	0.19
山口県	14	2.00	7	1.00	2	0.29	16	2.29	32	6.40	9	1.80	2	0.40
徳島県	2	0.33	-	-	1	0.17	1	0.17	9	1.29	2	0.29	-	-
香川県	31	3.44	4	0.44	4	0.44	8	0.89	30	6.00	-	-	-	-
愛媛県	27	2.70	5	0.50	2	0.20	18	1.80	2	0.40	-	-	1	0.20
高知県	6	1.00	-	-	-	-	5	0.83	58	8.29	19	2.71	3	0.43
福岡県	115	4.60	25	1.00	11	0.44	65	2.60	1	0.06	-	-	-	-
佐賀県	29	4.14	6	0.86	1	0.14	17	2.43	25	4.17	-	-	-	-
長崎県	7	0.70	10	1.00	2	0.20	3	0.30	1	0.08	2	0.17	-	-
熊本県	67	4.79	27	1.93	5	0.36	38	2.71	51	3.40	4	0.27	1	0.07
大分県	6	0.60	13	1.30	2	0.20	12	1.20	30	3.33	-	-	-	-
宮崎県	40	3.64	7	0.64	4	0.36	14	1.27	34	4.86	3	0.43	1	0.14
鹿児島県	24	1.50	14	0.88	6	0.38	12	0.75	13	1.08	2	0.17	-	-
沖縄県	31	2.82	3	0.27	4	0.36	3	0.27	41	5.86	20	2.86	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1167	1.30	308	0.34	196	0.22	981	1.09	845	1.89	186	0.42	20	0.04
北海道	45	1.00	16	0.36	7	0.16	48	1.07	24	1.04	2	0.09	-	-
青森県	11	0.79	5	0.36	3	0.21	10	0.71	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	15	1.15	3	0.23	7	0.54	9	0.69	36	1.80	2	0.10	1	0.05
宮城県	29	1.61	5	0.28	8	0.44	14	0.78	30	2.50	17	1.42	-	-
秋田県	3	0.21	-	-	-	-	3	0.21	5	0.71	6	0.86	-	-
山形県	16	1.60	-	-	-	-	3	0.30	25	2.78	4	0.44	1	0.11
福島県	20	1.25	5	0.31	-	-	8	0.50	2	0.33	-	-	-	-
茨城県	33	1.57	2	0.10	4	0.19	25	1.19	9	0.90	-	-	-	-
栃木県	19	1.27	1	0.07	1	0.07	19	1.27	10	1.43	-	-	-	-
群馬県	60	2.40	6	0.24	2	0.08	40	1.60	16	1.60	1	0.10	1	0.10
埼玉県	69	1.35	13	0.25	13	0.25	41	0.80	12	1.33	1	0.11	2	0.22
千葉県	26	0.62	11	0.26	8	0.19	20	0.48	27	3.00	30	3.33	-	-
東京都	117	2.85	36	0.88	37	0.90	90	2.20	51	2.68	10	0.53	2	0.11
神奈川県	61	1.03	15	0.25	4	0.07	50	0.85	15	1.36	9	0.82	-	-
新潟県	27	1.42	3	0.16	2	0.11	33	1.74	18	1.38	4	0.31	-	-
富山県	8	1.14	-	-	-	-	3	0.43	18	3.60	3	0.60	1	0.20
石川県	23	2.30	1	0.10	3	0.30	9	0.90	5	1.00	7	1.40	-	-
福井県	5	1.00	-	-	-	-	3	0.60	22	3.67	8	1.33	-	-
山梨県	4	0.67	-	-	-	-	8	1.33	13	1.30	13	1.30	-	-
長野県	5	0.33	1	0.07	1	0.07	8	0.53	14	1.27	5	0.45	-	-
岐阜県	9	0.60	9	0.60	3	0.20	8	0.53	12	2.40	3	0.60	-	-
静岡県	26	0.96	1	0.04	2	0.07	11	0.41	32	3.56	3	0.33	-	-
愛知県	108	2.12	23	0.45	20	0.39	73	1.43	22	1.69	1	0.08	-	-
三重県	12	0.80	5	0.33	-	-	7	0.47	51	5.67	2	0.22	-	-
滋賀県	2	0.22	-	-	-	-	7	0.78	15	2.14	1	0.14	1	0.14
京都府	4	0.17	-	-	1	0.04	4	0.17	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	130	2.28	66	1.16	31	0.54	155	2.72	15	1.88	-	-	-	-
兵庫県	48	1.04	11	0.24	6	0.13	44	0.96	20	1.67	3	0.25	-	-
奈良県	8	0.89	3	0.33	6	0.67	12	1.33	12	2.00	6	1.00	-	-
和歌山県	1	0.13	3	0.38	2	0.25	4	0.50	12	1.09	1	0.09	2	0.18
鳥取県	10	2.00	-	-	-	-	-	-	10	2.00	-	-	-	-
島根県	7	1.40	1	0.20	-	-	4	0.80	36	4.50	4	0.50	-	-
岡山県	13	0.76	2	0.12	3	0.18	14	0.82	6	1.20	-	-	-	-
広島県	23	0.88	5	0.19	3	0.12	15	0.58	38	1.81	4	0.19	3	0.14
山口県	2	0.29	4	0.57	1	0.14	10	1.43	22	4.40	6	1.20	2	0.40
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.86	1	0.14	-	-
香川県	9	1.00	3	0.33	3	0.33	7	0.78	22	4.40	-	-	-	-
愛媛県	10	1.00	4	0.40	2	0.20	18	1.80	2	0.40	-	-	-	-
高知県	4	0.67	-	-	-	-	4	0.67	37	5.29	10	1.43	3	0.43
福岡県	61	2.44	11	0.44	4	0.16	57	2.28	1	0.06	-	-	-	-
佐賀県	16	2.29	-	-	-	-	13	1.86	10	1.67	-	-	-	-
長崎県	6	0.60	8	0.80	-	-	3	0.30	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	22	1.57	15	1.07	3	0.21	32	2.29	32	2.13	3	0.20	1	0.07
大分県	5	0.50	4	0.40	1	0.10	12	1.20	15	1.67	-	-	-	-
宮崎県	18	1.64	-	-	-	-	11	1.00	22	3.14	-	-	-	-
鹿児島県	11	0.69	7	0.44	5	0.31	11	0.69	11	0.92	2	0.17	-	-
沖縄県	6	0.55	-	-	-	-	1	0.09	25	3.57	14	2.00	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1513	1.68	405	0.45	143	0.16	193	0.21	488	1.09	139	0.31	8	0.02
北海道	118	2.62	19	0.42	12	0.27	12	0.27	14	0.61	1	0.04	-	-
青森県	23	1.64	4	0.29	2	0.14	1	0.07	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	30	2.31	10	0.77	5	0.38	1	0.08	20	1.00	4	0.20	-	-
宮城県	53	2.94	18	1.00	4	0.22	3	0.17	23	1.92	7	0.58	1	0.08
秋田県	11	0.79	3	0.21	3	0.21	-	-	4	0.57	4	0.57	-	-
山形県	9	0.90	4	0.40	-	-	2	0.20	7	0.78	4	0.44	-	-
福島県	15	0.94	2	0.13	3	0.19	2	0.13	-	-	-	-	-	-
茨城県	40	1.90	13	0.62	-	-	3	0.14	7	0.70	-	-	-	-
栃木県	24	1.60	5	0.33	3	0.20	2	0.13	10	1.43	2	0.29	-	-
群馬県	60	2.40	4	0.16	2	0.08	5	0.20	11	1.10	4	0.40	1	0.10
埼玉県	140	2.75	21	0.41	11	0.22	9	0.18	5	0.56	1	0.11	-	-
千葉県	43	1.02	22	0.52	6	0.14	2	0.05	7	0.78	25	2.78	-	-
東京都	119	2.90	39	0.95	11	0.27	20	0.49	29	1.53	9	0.47	2	0.11
神奈川県	35	0.59	8	0.14	6	0.10	1	0.02	19	1.73	5	0.45	-	-
新潟県	4	0.21	5	0.26	3	0.16	2	0.11	12	0.92	5	0.38	-	-
富山県	19	2.71	2	0.29	4	0.57	-	-	14	2.80	1	0.20	-	-
石川県	5	0.50	4	0.40	-	-	-	-	4	0.80	3	0.60	-	-
福井県	11	2.20	1	0.20	-	-	-	-	16	2.67	7	1.17	-	-
山梨県	12	2.00	-	-	-	-	1	0.17	5	0.50	7	0.70	-	-
長野県	42	2.80	6	0.40	4	0.27	3	0.20	8	0.73	2	0.18	-	-
岐阜県	7	0.47	5	0.33	-	-	2	0.13	5	1.00	1	0.20	-	-
静岡県	62	2.30	6	0.22	2	0.07	2	0.07	22	2.44	7	0.78	-	-
愛知県	59	1.16	2	0.04	2	0.04	4	0.08	11	0.85	-	-	-	-
三重県	24	1.60	2	0.13	-	-	2	0.13	22	2.44	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	-	-	1	0.11	-	-	8	1.14	-	-	-	-
京都府	28	1.22	16	0.70	2	0.09	1	0.04	-	-	-	-	-	-
大阪府	159	2.79	86	1.51	22	0.39	73	1.28	8	1.00	1	0.13	-	-
兵庫県	42	0.91	13	0.28	2	0.04	1	0.02	9	0.75	3	0.25	-	-
奈良県	7	0.78	1	0.11	-	-	-	-	11	1.83	4	0.67	-	-
和歌山県	1	0.13	5	0.63	-	-	-	-	8	0.73	1	0.09	1	0.09
鳥取県	14	2.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	3	0.60	3	0.60	-	-	2	0.40	20	2.50	3	0.38	-	-
岡山県	31	1.82	5	0.29	1	0.06	3	0.18	3	0.60	-	-	-	-
広島県	29	1.12	6	0.23	7	0.27	1	0.04	21	1.00	3	0.14	1	0.05
山口県	12	1.71	3	0.43	1	0.14	6	0.86	10	2.00	3	0.60	-	-
徳島県	2	0.33	-	-	1	0.17	1	0.17	3	0.43	1	0.14	-	-
香川県	22	2.44	1	0.11	1	0.11	1	0.11	8	1.60	-	-	-	-
愛媛県	17	1.70	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
高知県	2	0.33	-	-	-	-	1	0.17	21	3.00	9	1.29	-	-
福岡県	54	2.16	14	0.56	7	0.28	8	0.32	-	-	-	-	-	-
佐賀県	13	1.86	6	0.86	1	0.14	4	0.57	15	2.50	-	-	-	-
長崎県	1	0.10	2	0.20	2	0.20	-	-	-	-	2	0.17	-	-
熊本県	45	3.21	12	0.86	2	0.14	6	0.43	19	1.27	1	0.07	-	-
大分県	1	0.10	9	0.90	1	0.10	-	-	15	1.67	-	-	-	-
宮崎県	22	2.00	7	0.64	4	0.36	3	0.27	12	1.71	3	0.43	1	0.14
鹿児島県	13	0.81	7	0.44	1	0.06	1	0.06	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	25	2.27	3	0.27	4	0.36	2	0.18	16	2.29	6	0.86	-	-



19週のデータ

注)表中の報告数は5月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年19週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	13	298	2	44	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	1	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	-	1	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	59	-	8	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	30	-	4	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	1	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年19週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	24	294	5	125	-	4	-	-	-	4	-	-	4	386
北海道	-	-	-	-	1	13	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
埼玉県	-	-	-	-	2	4	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1	11	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	-	-	-	2	25	2	39	-	-	-	-	-	1	-	-	2	47
神奈川県	-	-	-	-	-	18	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	6	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	4	18	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
大阪府	-	-	-	-	3	31	1	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	42
兵庫県	-	-	-	-	1	14	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43
奈良県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	1	38	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
大分県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年19週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	6	-	-	-	2	1	35	-	19	12	229	-	1	-	34	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	14	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	1	16	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	4	86	-	1	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	16	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	3	-	5	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	14	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	6	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年19週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	-	6	72	-	2	-	-	-	-	-	-	5	263
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	41
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	49
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年19週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	18	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	60	-	2	3	61
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	2
東京都	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年19週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	188	0.04	215	0.07	4075	1.36	16886	5.65	9176	3.07	934	0.31	812	0.27	2379	0.80	112	0.04
北海道	8	0.03	2	0.01	213	1.47	410	2.83	291	2.01	12	0.08	64	0.44	98	0.68	1	0.01
青森県	16	0.25	-	-	35	0.85	73	1.78	91	2.22	2	0.05	29	0.71	20	0.49	-	-
岩手県	3	0.05	2	0.05	22	0.58	106	2.79	87	2.29	-	-	14	0.37	25	0.66	-	-
宮城県	18	0.19	2	0.03	107	1.81	443	7.51	199	3.37	-	-	44	0.75	45	0.76	2	0.03
秋田県	2	0.04	-	-	78	2.23	246	7.03	66	1.89	1	0.03	3	0.09	20	0.57	-	-
山形県	5	0.11	1	0.03	47	1.62	176	6.07	62	2.14	20	0.69	20	0.69	23	0.79	3	0.10
福島県	-	-	-	-	48	1.00	262	5.46	135	2.81	1	0.02	26	0.54	33	0.69	8	0.17
茨城県	8	0.07	-	-	88	1.22	344	4.78	154	2.14	4	0.06	23	0.32	30	0.42	2	0.03
栃木県	-	-	4	0.09	114	2.53	204	4.53	93	2.07	12	0.27	2	0.04	36	0.80	1	0.02
群馬県	-	-	-	-	175	2.82	281	4.53	213	3.44	42	0.68	5	0.08	52	0.84	1	0.02
埼玉県	9	0.04	30	0.19	328	2.05	1084	6.78	476	2.98	41	0.26	44	0.28	143	0.89	7	0.04
千葉県	-	-	4	0.03	339	2.53	671	5.01	520	3.88	12	0.09	66	0.49	110	0.82	8	0.06
東京都	9	0.05	9	0.06	75	0.53	627	4.42	275	1.94	16	0.11	51	0.36	69	0.49	-	-
神奈川県	18	0.06	26	0.13	277	1.34	879	4.27	619	3.00	37	0.18	121	0.59	160	0.78	5	0.02
新潟県	-	-	10	0.17	166	2.77	502	8.37	217	3.62	4	0.07	45	0.75	44	0.73	13	0.22
富山県	-	-	-	-	41	1.41	254	8.76	84	2.90	2	0.07	7	0.24	24	0.83	1	0.03
石川県	2	0.04	1	0.03	26	0.90	195	6.72	168	5.79	-	-	3	0.10	17	0.59	-	-
福井県	-	-	-	-	52	2.36	310	14.09	93	4.23	-	-	3	0.14	24	1.09	-	-
山梨県	6	0.15	-	-	28	1.12	88	3.52	42	1.68	1	0.04	3	0.12	20	0.80	-	-
長野県	4	0.05	5	0.10	76	1.49	431	8.45	130	2.55	1	0.02	28	0.55	45	0.88	3	0.06
岐阜県	18	0.21	3	0.06	67	1.26	208	3.92	175	3.30	4	0.08	3	0.06	36	0.68	1	0.02
静岡県	1	0.01	2	0.02	112	1.30	580	6.74	404	4.70	19	0.22	14	0.16	102	1.19	6	0.07
愛知県	-	-	13	0.07	265	1.46	850	4.67	715	3.93	12	0.07	49	0.27	180	0.99	2	0.01
三重県	1	0.01	-	-	58	1.29	428	9.51	161	3.58	9	0.20	1	0.02	46	1.02	-	-
滋賀県	-	-	4	0.13	40	1.25	113	3.53	118	3.69	7	0.22	-	-	19	0.59	2	0.06
京都府	11	0.09	-	-	25	0.34	404	5.53	176	2.41	7	0.10	9	0.12	48	0.66	-	-
大阪府	13	0.05	18	0.10	135	0.71	735	3.89	517	2.74	91	0.48	29	0.15	130	0.69	6	0.03
兵庫県	7	0.04	22	0.17	156	1.22	948	7.41	468	3.66	22	0.17	20	0.16	148	1.16	7	0.05
奈良県	-	-	1	0.03	33	0.94	216	6.17	101	2.89	55	1.57	4	0.11	19	0.54	2	0.06
和歌山県	-	-	5	0.16	40	1.29	147	4.74	119	3.84	16	0.52	2	0.06	24	0.77	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	104	5.47	267	14.05	58	3.05	9	0.47	1	0.05	27	1.42	3	0.16
島根県	-	-	1	0.04	16	0.70	124	5.39	63	2.74	-	-	1	0.04	16	0.70	-	-
岡山県	-	-	10	0.21	46	0.96	338	7.04	164	3.42	6	0.13	13	0.27	31	0.65	2	0.04
広島県	3	0.03	8	0.11	46	0.61	468	6.24	168	2.24	14	0.19	9	0.12	57	0.76	3	0.04
山口県	-	-	5	0.10	66	1.35	504	10.29	206	4.20	5	0.10	2	0.04	47	0.96	2	0.04
徳島県	-	-	-	-	6	0.26	63	2.74	25	1.09	6	0.26	-	-	8	0.35	-	-
香川県	1	0.02	1	0.03	28	0.88	198	6.19	83	2.59	4	0.13	4	0.13	40	1.25	-	-
愛媛県	-	-	5	0.13	40	1.03	444	11.38	171	4.38	12	0.31	-	-	49	1.26	1	0.03
高知県	1	0.02	-	-	40	1.29	148	4.77	89	2.87	3	0.10	3	0.10	20	0.65	2	0.06
福岡県	1	0.01	2	0.03	47	0.59	383	4.85	163	2.06	28	0.35	11	0.14	32	0.41	1	0.01
佐賀県	-	-	1	0.04	30	1.30	115	5.00	69	3.00	53	2.30	4	0.17	38	1.65	-	-
長崎県	-	-	-	-	26	0.59	227	5.16	99	2.25	38	0.86	3	0.07	23	0.52	-	-
熊本県	-	-	4	0.08	41	0.84	248	5.06	226	4.61	203	4.14	2	0.04	46	0.94	2	0.04
大分県	-	-	5	0.14	51	1.42	355	9.86	135	3.75	9	0.25	12	0.33	43	1.19	6	0.17
宮崎県	1	0.02	2	0.05	147	3.97	357	9.65	138	3.73	5	0.14	3	0.08	45	1.22	4	0.11
鹿児島県	19	0.19	3	0.05	63	1.05	354	5.90	204	3.40	79	1.32	12	0.20	50	0.83	4	0.07
沖縄県	3	0.05	1	0.03	12	0.35	78	2.29	146	4.29	10	0.29	-	-	17	0.50	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年19週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	140	0.05	399	0.13	1001	0.34	2242	0.75	35	0.06	815	1.29	3	0.01	6	0.01	22	0.05
北海道	9	0.06	4	0.03	19	0.13	107	0.74	-	-	15	0.52	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.07	1	0.02	2	0.05	49	1.20	-	-	15	1.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	21	0.55	27	0.71	16	0.42	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.05	10	0.17	8	0.14	10	0.17	1	0.09	4	0.36	-	-	1	0.08	-	-
秋田県	-	-	7	0.20	-	-	14	0.40	-	-	2	0.29	-	-	1	0.14	-	-
山形県	-	-	-	-	2	0.07	6	0.21	-	-	8	1.00	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	3	0.06	15	0.31	13	0.27	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	61	0.85	26	0.36	-	-	70	4.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	6	0.13	4	0.09	40	0.89	13	0.29	-	-	32	2.67	-	-	-	-	1	0.17
群馬県	3	0.05	17	0.27	-	-	100	1.61	1	0.07	22	1.57	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	7	0.04	15	0.09	46	0.29	186	1.16	2	0.06	40	1.11	-	-	-	-	-	-
千葉県	18	0.13	13	0.10	106	0.79	126	0.94	3	0.09	52	1.49	1	0.08	-	-	-	-
東京都	4	0.03	25	0.18	10	0.07	71	0.50	1	0.07	23	1.64	1	0.04	1	0.04	-	-
神奈川県	9	0.04	15	0.07	30	0.15	166	0.81	4	0.10	81	1.93	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	3	0.05	1	0.02	31	0.52	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.14	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	1	0.03	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.09	2	0.09	-	-	3	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	2	0.08	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.04	10	0.20	2	0.04	36	0.71	2	0.20	18	1.80	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	8	0.15	23	0.43	30	0.57	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	8	0.09	25	0.29	147	1.71	-	-	13	0.62	-	-	-	-	2	0.22
愛知県	7	0.04	26	0.14	13	0.07	127	0.70	1	0.03	35	1.00	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	5	0.11	17	0.38	44	0.98	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	2	0.06	3	0.09	27	0.84	10	0.31	-	-	24	3.43	-	-	-	-	2	0.33
京都府	-	-	2	0.03	13	0.18	18	0.25	2	0.11	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	12	0.06	36	0.19	233	1.23	79	0.42	3	0.06	31	0.60	-	-	-	-	1	0.13
兵庫県	3	0.02	14	0.11	71	0.55	130	1.02	-	-	30	0.86	-	-	-	-	2	0.14
奈良県	5	0.14	4	0.11	28	0.80	12	0.34	-	-	17	1.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	3	0.10	26	0.84	8	0.26	1	0.25	3	0.75	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	1	0.05	11	0.58	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	6	0.26	16	0.70	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	16	0.33	36	0.75	30	0.63	-	-	25	2.27	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	6	0.08	11	0.15	108	1.44	3	0.15	37	1.85	-	-	1	0.05	2	0.10
山口県	1	0.02	7	0.14	-	-	127	2.59	-	-	11	1.22	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	-	-	10	0.43	3	0.13	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	48	1.50	38	1.19	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	5	0.13	4	0.10	12	0.31	2	0.29	23	3.29	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.10	13	0.42	24	0.77	29	0.94	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	1	0.01	10	0.13	1	0.01	40	0.51	-	-	6	0.33	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	37	1.61	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	7	0.16	-	-	15	0.34	7	0.78	13	1.44	-	-	-	-	-	-
熊本県	4	0.08	36	0.73	5	0.10	89	1.82	-	-	23	2.56	-	-	-	-	4	0.27
大分県	-	-	15	0.42	2	0.06	20	0.56	-	-	7	1.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	24	0.65	8	0.22	1	0.03	60	1.62	-	-	14	3.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	3	0.05	2	0.03	18	0.30	-	-	12	2.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	3	0.09	4	0.12	-	-	34	3.40	1	0.14	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年19週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	19	0.04	4	0.01	27	0.06
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	3	0.16
宮城県	6	0.50	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	9	0.36
神奈川県	-	-	-	-	7	0.64
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	4	0.50
兵庫県	1	0.07	1	0.07	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	1	0.14

感染症週報 第2巻、第19号 平成12年5月26日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。